

INDEX

A	設定 38-4, 38-5
•	他の機能との相互作用 38-4
AAA ダウン ポリシー、NAC レイヤ 2 IP 検証 1-10	名前付き 38-3
ABR 35-26	表示 38-9
access-class コマンド 32-20	優先 38-2
ACE	MAC 拡張 32-27, 33-47
IP 32-2	QoS 33-8, 33-45
QoS ≿ 33-8	QoS クラス マップごとの数 33-35
イーサネット 32-2	QoS のトラフィックを分類する 33-45
定義済み 32-2	VLAN マップ
ACL	設定時の注意事項 32-31
ACE 32-2	設定する 32-29
IP	VLAN マップでルータ ACL を使用する 32-38
暗黙の拒否 32-10, 32-15, 32-17	エントリの並べ替え 32-15
暗黙のマスク 32-10	拡張 IP、QoS 分類を設定する 33-46
一致基準 32-7	拡張 IPv4
作成する 32-7	一致基準 32-7
フラグメントと QoS の注意事項 33-35	作成する 32-10
未定義 32-21	コメント 32-19
IPv4	コンパイルする 32-22
一致基準 32-7	サポート 1-8
インターフェイスに対して適用する 32-20	サポートされない機能、IPv6 38-3
作成する 32-7	サポートされるタイプ 32-2
数 32-8	時間範囲 32-17
端末回線、設定する 32-19	照合 32-7, 32-21, 38-3
名前付き 32-15	すべてのキーワード 32-13
非サポート機能 32-7	定義済み 32-1, 32-7
IPv6	適用
一致条件 38-3	IPv6 インターフェイス 38-8
インターフェイスへの適用 38-8	適用する
サポートしない機能 38-3	QoS に対する 33-8
サポート対象 38-3	インターフェイスに対する 32-20, 38-8
制限 38-3	時間範囲 32-17

スイッチド パケットでの 32-39	
ブリッジド パケットでの 32-40	В
マルチキャスト パケットでの 32-41	BackboneFast
ルーテッド パケットでの 32-40	イネーブルにする 19-14
名前 38-4	サポート 1-7
名前付き、IPv4 32-15	説明 19-5
名前付き、IPv6 38-3	ディセーブルにする 19-15
ハードウェアでのサポート 32-22	BGP
ハードウェアとソフトウェアの処理 32-22	CIDR 35-60
非サポート機能、IPv 4 32-7	clear コマンド 35-64
標準 IP、QoS 分類を設定する 33-45	Multi-VRF CE によるルーティング セッション 35-76
標準 IPv4	show コマンド 35-64
一致基準 32-7 作成する 32-9	イネーブル化 35-47
ポート 32-2, 38-2	コミュニティ フィルタリング 35-57
ホストキーワード 32-13	サポート 1-11
モニタリング 32-42, 38-9	集約アドレス 35-60
優先順位 32-2	集約ルート、設定 35-60
ルータ 32-2 , 3 8-2	スーパーネット 35-60
ルータ ACL と VLAN マップの設定時の注意事	セッションのリセット 35-51
項 32-38	説明 35-44
例 32-22, 33-45	デフォルト設定 35-45
レイヤ 4 情報 32-39	ネイバー、タイプ 35-47
ロギング メッセージ 32-8	ネイバーの設定 35-59
AC (コマンド スイッチ) 5-10	バージョン 4 35-44
ARP	パス選択 35-52
カプセル化 35-10	ピア、設定 35-59
スタティック キャッシュの設定 35-9	プレフィックス フィルタリング 35-56
設定 35-9	マルチパス サポート 35-52
定義済み 1-5, 6-27, 35-9	モニタリング 35-64
テーブル	ルーティング ドメイン連合 35-61
アドレス解決 6-27	ルート ダンプニング 35-63
管理する 6-27	ルート マップ 35-54
ASBR 35-26	ルート リフレクタ 35-62
AS パス フィルタ、BGP 35-55	BPDU
Auto-MDIX	errdisable ステート 19-2
設定する 10-22	RSTP 形式 18-12
説明 10-21	フィルタリング 19-3
	BPDU ガード

イネーブルにする 19-11	CE デバイス内の Multi-VRF
サポート 1-7	「Multi-VRF CE」を参照
説明 19-2	CGMP
ディセーブルにする 19-12	IGMP スヌーピング ラーニング方式としての 23-9
BPDU フィルタリング	概要 43-10
イネーブルにする 19-12 サポート 1-7	キャッシュに格納されたグループ エントリのクリア 43-55
説明 19-3	サーバ サポート機能 43-10
ディセーブルにする 19-13	サーバ サポートのイネーブル化 43-37
broadcast storm-control コマンド 24-4	スイッチ サポート 1-4
oroadcast storm control = 10 1	マルチキャスト グループに加入する 23-3
	CIDR 35-60
C	CipherSuite 8-44
CA トラストポイント	Cisco 7960 IP フォン 14-1
and the North American	Cisco Discovery Protocol
設定する 8-45 定義済み 8-43	「CDP」を参照
た我併か 0-43 CDP	Cisco Group Management Protocol
LLDP での定義 26-1	「CGMP」を参照
アップデート 25-2	Cisco IOS DHCP サーバ
ノッフノート 25-2 イネーブルとディセーブル	「DHCP、Cisco IOS DHCP サーバ データベース」を
インターフェイス上で 25-4	参照 Circu IOS File States
スイッチ上で 25-3	Cisco IOS File System
概要 25-1	「IFS」を参照
サポート 1-5	Cisco IOS IP SLA 40-1
信頼境界と 33-41	Cisco IOS IP サービス レベル契約 (SLA) 応答側 1-4
スイッチ クラスタでの自動検出 5-5	Cisco Network Assistant
設定 25-2	「Network Assistant」を参照 CiscoWorks 2000 1-5, 31-4
説明 25-1	•
送信タイマーとホールドタイム、設定する 25-2	Cisco インテリジェント電力管理 10-7 CIST リージョナル ルート
デフォルト設定 25-2	
電力ネゴシエーションの拡張機能 10-7	「MSTP」を参照 CIST ルート
モニタリング 25-4	「MSTP」を参照
ルーティング デバイスをディセーブルにする 25-3 ~ 25-4	「MSTP」を参照 CLI
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-8	エラー メッセージ 2-5
CEF	クラスタを管理する 5-15
IPv6 36-19	コマンド出力のフィルタリング 2-10
イネーブル化 35-82	コマンドの no 形式と default 形式 2-4
定義 35-81	コマンドの短縮形 2-4

コマンド モード 2-1	D
コンフィギュレーション ロギング 2-5	
説明 1-5	default コマンド 2-4
ヘルプを使用する 2-3	description コマンド 10-25
編集機能	DHCP
イネーブルとディセーブル 2-7	Cisco IOS サーバ データベース
キーストローク編集 2-7	設定する 21-14
ラップされた行 2-9	説明 21-6
履歴	デフォルト設定 21-9
コマンドを呼び出す 2-6	イネーブル化
説明 2-6	サーバ 21-10
ディセーブルにする 2-7	イネーブルにする
バッファ サイズを変更する 2-6	リレー エージェント 21-11
CNS 1-5	DHCP Option 82
Configuration Engine	回線 ID サブオプション 21-5
イベント サービス 4-3	概要 21-3
コンフィギュレーション サービス 4-2	パケット形式、サブオプション
設定 ID、デバイス ID、ホスト名 4-3	回線 ID 21-5
説明 4-1	リモート ID 21-5
管理機能 1-5	リモート ID サブオプション 21-5
組み込みエージェント	DHCP オプション 82
イベント エージェントをイネーブルにする 4-8	設定時の注意事項 21-9
コンフィギュレーション エージェントをイネーブ	デフォルト設定 21-8
ルにする 4-9	転送アドレス、指定する 21-11
自動設定をイネーブルにする 4-7	表示する 21-16
説明 4-5	ヘルパー アドレス 21-11
config.text 3-13	DHCP スヌーピング
configure terminal コマンド 10-11	Option 82 データ挿入 21-3
config-vlan モード 2-2, 12-7	信頼済みインターフェイス 21-2
CoS	設定時の注意事項 21-9
オーバーライド プライオリティ 14-7	デフォルト設定 21-8
信頼のプライオリティ 14-7	バインディング データベース
レイヤ2フレームでの 33-2	「DHCP スヌーピング バインディング データベー
CoS/DSCP マップ、QoS での 33-63	ス」を参照
CoS 出力キューしきい値マップ、QoS の 33-20	バインディング テーブルの表示 21-16
crashinfo ファイル 46-23	非信頼インターフェイス 21-2
Customer Edge デバイス 35-66 CWDM SFP 1-23	非信頼パケット形式エッジ スイッチを受信す る 21-3, 21-13
	非信頼メッセージ 21-2

プライベート VLAN の 21-14	サポート 1-5
メッセージ交換プロセス 21-4	設定
DHCP スヌーピング バインディング データベース	サーバ側 21-10
イネーブルにする 21-15	設定する
エージェント統計情報をクリアする 21-15	DNS 3-6
エントリ 21-7	TFTP サーバ 3-6
削除する	クライアント側 3-3
データベース エージェント 21-15	サーバ側 3-5
バインディング 21-16	リレー デバイス 3-7
バインディング ファイル 21-15	リース オプション
設定時の注意事項 21-10	IP アドレス情報 3-5
設定する 21-15 説明 21-7	コンフィギュレーション ファイルを受信す る 3-5
データベースを更新する 21-15	リレー サポート 1-5, 1-12
デフォルト設定 21-8, 21-9	例 3-9
バインディング 21-7	distribute-list コマンド 35-94
バインディング ファイル	DNS
形式 21-7	DHCP ベースの自動設定と 3-6
場所 21-7	IPv6 での 36-4
グバー 21-7 バインディングを追加する 21-15	概要 6-15
表示	サポート 1-5
ステータスと統計情報 21-16	設定する 6-16
バインディング エントリ 21-16	設定を表示する 6-17
表示する 21-16	デフォルト設定 6-16
リセットする	dot1q-tunnel switchport モード 12-19
タイムアウト値 21-15	DSCP 1-10, 33-2
遅延値 21-15	DSCP/CoS マップ、QoS での 33-66
DHCP スヌーピング バインディング テーブル	DSCP/DSCP 変換マップ、QoS での 33-67
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」	DSCP 出力キューしきい値マップ、QoS の 33-20
を参照	DSCP 透過性 33-42
DHCP バインディング データベース	DTP 1-7, 12-18
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」 を参照	DUAL 有限状態マシン、EIGRP 35-36 DVMRP
DHCP バインディング テーブル	DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 43-43
「DHCP スヌーピング バインディング データベース」 を参照	mrinfo 要求、応答 43-46
DHCP ベースの自動設定	概要 43-9
BOOTP との関係 3-4	サポート 1-12
概要 3-3	自動サマライズ
クライアント要求メッセージの交換 3-4	サマリー アドレスの設定 43-51

ディセーブル化 43-53	E
相互運用性	_
Cisco IOS ソフトウェアとの 43-9	EBGP 35-43
シスコ デバイスとの 43-41	「EBGP」を参照
送信元配信ツリー、構築 43-9	EIGRP
トンネル	インターフェイス パラメータ、設定 35-39
設定 43-43	コンポーネント 35-36
ネイバー情報の表示 43-46	スタブ ルーティング 35-41
ネイバー	設定 35-38
情報の表示 43-46	定義 35-35
デフォルト ルートのアドバタイズ 43-46	デフォルト設定 35-37
非プルーニングとのピアリングの禁止 43-49	認証 35-40
非プルーニングの拒否 43-48	モニタリング 35-42
プローブ メッセージによる検出 43-41	ELIN ロケーション 26-3
ユニキャスト ルーティングのイネーブル化 43-47	enable secret password 8-3
ルーティング テーブル 43-9	errdisable ステート、BPDU 19-2
ルート	EtherChannel
MBONE に入る個数の制限 43-50	IEEE 802.3ad、説明 34-5
Syslog メッセージのしきい値の変更 43-50	LACP
削除 43-55	システム プライオリティ 34-19
すべてのアドバタイズ 43-53	ステータスを表示する 34-20
ネイバーへのデフォルト ルートのアドバタイ	説明 34-5
ズ 43-46	他の機能との相互動作 34-6
表示 43-55	ポート プライオリティ 34-19
メトリック オフセットの追加 43-53	ホット スタンバイ ポート 34-18
優先度 43-53	モード 34-5
ユニキャスト ルート アドバタイズの制 限 43-41	PAgP
レポート メッセージで取得された DVMRP ルー	Catalyst 1900 との互換性 34-17
トのキャッシュへの格納 43-47	学習方式とプライオリティの設定 34-17
dynamic auto trunking モード 12-18	サポート 1-3
dynamic desirable trunking $\mp - \mathbb{F}$ 12-18	集約ポート ラーナー 34-17
Dynamic Host Configuration Protocol	ステータスを表示する 34-20
「DHCP ベースの自動設定」を参照	説明 34-4
Dynamic Trunking Protocol (ダイナミック トランキング	他の機能との相互動作 34-5
プロトコル)	モード 34-4
「DTP」を参照	サポート 1-3
	自動作成 34-4, 34-5
	ステータスを表示する 34-20
	設定時の注音事項 34-9

設定する	設定時の注意事項 20-5
レイヤ 2 インターフェイス 34-10	説明 20-1
レイヤ 3 物理インターフェイス 34-14	デフォルト設定 20-4
レイヤ 3 ポートチャネル論理インターフェイ	モニタリング 20-12
ス 34-13	優先 VLAN の設定 20-9
説明 34-2	リンク ロード バランシング 20-2
相互動作	FTP
STP での 34-9	MIB ファイルにアクセスする A-3
VLAN での 34-10	イメージ ファイル
チャネル グループ	アップロードする B-34
番号付け 34-3	サーバを準備する B-30
物理インターフェイスと論理インターフェイスの	ダウンロードする B-32
バインディング 34-3	古いイメージを削除する B-33
デフォルト設定 34-9	コンフィギュレーション ファイル
転送方式 34-6, 34-16	アップロードする B-15
ポート グループ 10-5	概要 B-12
ポートチャネル インターフェイス	サーバを準備する B-13
説明 34-3	ダウンロードする B-13
番号付け 34-3	//V = 1 , 3 B-10
レイヤ 3 インターフェイス 35-4	
ロード バランシング 34-6, 34-16	G
論理インターフェイス、説明 34-3	
EtherChannel ガード	get-bulk-request オペレーション 31-3
イネーブルにする 19-15	get-next-request オペレーション 31-3, 31-5
説明 19-7	get-request オペレーション 31-3, 31-5
ディセーブルにする 19-15	get-response オペレーション 31-3
	/ 'I I
EUI 36-3	GUI
EUI 36-3 Express Setup 1-2	「デバイス マネージャと Network Assistant」を参照
Express Setup 1-2	
Express Setup 1-2 「スタートアップ ガイド」も参照 Extensible Authentication Protocol over LAN 9-1	「デバイス マネージャと Network Assistant」を参照
Express Setup 1-2 「スタートアップ ガイド」も参照	「デバイス マネージャと Network Assistant」を参照
Express Setup 1-2 「スタートアップ ガイド」も参照 Extensible Authentication Protocol over LAN 9-1	「デバイス マネージャと Network Assistant」を参照 H hello タイム
Express Setup 1-2 「スタートアップ ガイド」も参照 Extensible Authentication Protocol over LAN 9-1 F fa0 インターフェイス 1-6 FIB 35-81	「デバイス マネージャと Network Assistant」を参照 H hello タイム MSTP 18-22
Express Setup 1-2 「スタートアップ ガイド」も参照 Extensible Authentication Protocol over LAN 9-1 F fa0 インターフェイス 1-6	「デバイス マネージャと Network Assistant」を参照 H hello タイム MSTP 18-22 STP 17-21 Hot Standby Router Protocol(ホットスタンバイ ルータ
Express Setup 1-2 「スタートアップ ガイド」も参照 Extensible Authentication Protocol over LAN 9-1 F fa0 インターフェイス 1-6 FIB 35-81	H hello タイム MSTP 18-22 STP 17-21 Hot Standby Router Protocol (ホットスタンバイ ルータプロトコル)
Express Setup 1-2 「スタートアップ ガイド」も参照 Extensible Authentication Protocol over LAN 9-1 F fa0 インターフェイス 1-6 FIB 35-81 Flex Link	H hello タイム MSTP 18-22 STP 17-21 Hot Standby Router Protocol(ホットスタンバイルータプロトコル) 「HSRP」を参照

オブジェクト トラッキング 41-7	ICMP ping
ガイドライン 39-5	概要 46-13
概要 39-1	実行する 46-14
クラスタ グループにバインド 39-11	ICMP Router Discovery Protocol
クラスタ スタンバイ グループの考慮事項 5-11	「IRDP」を参照
コマンド スイッチの冗長性 1-1, 1-6	ICMPv6 36-4
自動クラスタ回復 5-12	ICMP エコー動作
設定 39-4	IP SLA 40-11
タイマー 39-10	設定する 40-11
定義 39-1	IDS 装置
デフォルト設定 39-5	入力 RSPAN と 28-22
トラッキング 39-7	入力 SPAN と 28-14
認証ストリング 39-9	IEEE 802.1D
プライオリティ 39-7	「STP」を参照
モニタリング 39-12	IEEE 802.1p 14-1
ルーティングの冗長性 1-11	IEEE 802.1Q
「クラスタ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、「スタ	カプセル化 12-17
ンバイ コマンド スイッチ」も参照	設定の制限 12-19
HTTP over SSL	その他の機能を含むトンネル ポート 16-6
「HTTPS」を参照	タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 12-24
HTTPS 8-43	トランク ポートと 10-3
自己署名証明書 8-43	トンネリング
設定する 8-46	説明 16-1
HTTP セキュア サーバ 8-43	他の機能との互換性 16-6
	デフォルト 16-4
	IEEE 802.1s
	「MSTP」を参照
IBGP	IEEE 802.1w
「IBGP」を参照	「RSTP」を参照
IBPG 35-43	IEEE 802.1x
ICMP	「ポートベース認証」を参照
IPv6 36-4	IEEE 802.3ad
traceroute \angle 46-17	「EtherChannel」を参照
サポート 1-12	IEEE 802.3af
時間超過メッセージ 46-17	「PoE」を参照
到達不能と AC L 32-22	IEEE 802.3x フロー制御 10-20
到達不能メッセージ 32-20	ifIndex 值、SNMP 31-6
到達不能メッセージおよび IPv6 38-4	IFS 1-6
リダイレクト メッセージ 35-12	IGMP

join メッセージ 23-3	説明 23-6
概要 43-3	ディセーブルにする 23-16, 37-11
キャッシュ エントリの削除 43-55	IGMP グループ
クエリー 23-4	最大番号を設定する 23-28
グループの表示 43-55	フィルタリングを設定する 23-29
グループへのアクセスの制御 43-32	IGMP スヌーピング
高速スイッチング 43-36	VLAN の設定 23-8
サポート 1-4	アドレス エイリアス設定 23-2
サポートされるバージョン 23-3	イネーブルとディセーブル 23-8, 37-6
スイッチの設定	クエリア
グループのメンバーとして 43-31	設定時の注意事項 23-15
静的に接続されたメンバー 43-36	設定する 23-15
設定可能な Leave タイマー	グローバル設定 23-8
説明 23-6	サポート 1-4
設定可能な脱退タイマー	サポートされるバージョン 23-3
イネーブルにする 23-12	設定 23-7
脱退処理、イネーブルにする 23-11, 37-9	即時脱退 23-6
デフォルト設定 43-30	定義 23-2
バージョン 1	デフォルト設定 23-7, 37-5, 37-6
説明 43-3	方式 23-9
バージョン 2 への変更 43-33	モニタリング 23-17, 37-12
バージョン 2	IGMP スロットリング
クエリー タイムアウト値 43-35	アクションを表示する 23-30
グループのプルーニング 43-35	設定する 23-29
最大クエリー応答時間値 43-35	説明 23-26
説明 43-4	デフォルト設定 23-27
バージョン 1 への変更 43-33	IGMP 即時脱退
フラッディングしたマルチキャスト トラフィック	イネーブルにする 23-11
インターフェイス上でディセーブルにす	設定時の注意事項 23-12
る 23-14	説明 23-6
クエリー送信要求 23-13	IGMP フィルタリング
グローバルな脱退 23-13	サポート 1-4
時間の長さを制御する 23-13	設定する 23-27
フラッディング モードから回復する 23-13	説明 23-26
ホストクエリー インターバル、変更 43-33	デフォルト設定 23-26
マルチキャスト グループから脱退する 23-5 マルチキャスト グループに加入する 23-3	モニタリング 23-31
	IGMP プロファイル
マルチキャストの到達可能性 43-31	コンフィギュレーション モード 23-27
レポート抑制	設定する 23-27

適用する 23-28	トラック ステート 41-9
IGMP ヘルパー 1-4, 43-6	ネットワーク パフォーマンスを測定する 40-3
IGP 35-26	マルチオペレーションのスケジューリング 40-5
interfaces range macro コマンド 10-13	モニタリング 40-14
Interior Gateway Protocol	利点 40-2
「IGP」を参照	IP traceroute
Internet Group Management Protocol(インターネット グループ管理プロトコル)	概要 46-16 実行する 46-17
「IGMP」を参照	実行する 46-17 IPv4 ACL
IP ACL	インターフェイスに対して適用する 32-20
QoS 分類の 33-8	拡張、作成する 32-10
暗黙の拒否 32-10, 32-15	名前付き 32-15
暗黙のマスク 32-10	標準、作成する 32-9
名前付き 32-15	標準、IFM 9 3 32-9 IPv4 および IPv6
未定義 32-21	インターフェイスでの設定 36-17
IP Base イメージ 1-1	相違 36-2
ip cef distributed コマンド 35-82	IPv4 & IPv6
ip igmp profile コマンド 23-27	デュアル プロトコル スタック 36-6
IP precedence 33-2	IPv6
IP precedence/DSCP マップ、QoS での 33-64	ACL
IP SLA	precedence 38-2
ICMP エコー動作 40-11	一致条件 38-3
SNMP サポート 40-2	サポート対象 38-3
UDP ジッタ動作 40-8	制限 38-3
応答側	表示 38-9
イネーブルにする 40-7	ポート 38-2
説明 40-4	ルータ 38-2
応答時間 40-4	CEFv6 36-19
オブジェクト トラッキング 41-9	Enhanced Interior Gateway Routing Protocol
オブジェクト トラッキングの設定 41-9	(EIGRP) IPv6 36-6
サポートされるメトリック 40-2	EIGRP IPv6 コマンド 36-8
しきい値のモニタリング 40-6	パッシブ インターフェイス 36-7
スケジューリング 40-5	プレフィックス リスト 36-7
制御プロトコル 40-4	ルータ ID 36-7
設定時の注意事項 40-6	ICMP 36-4
定義 40-1	ICMP レート制限 36-18
デフォルト設定 40-6	OSPF 36-24
動作 40-3	RIP 36-22
到達可能性トラッキング 41-9	SDM テンプレート 7-2 36-11 37-1 38-1

アドレス 36-2	割り当て
アドレス フォーマット 36-2	DHCP ベースの自動設定を介して 3-3
アドレスを割り当てる 36-14	手動で 3-10
アプリケーション 36-5	IP 送信元ガード
イネーブル化 36-14	イネーブル化 21-18
機能の制限 36-10	ディセーブル化 21-19
サポート機能 36-3	IP ソース ガード
自動設定 36-5	802.1x と 21-18
スイッチの制限 36-10	DHCP スヌーピングと 21-16
スタティック ルートを設定する 36-19	EtherChannels & 21-18
定義済み 36-1	TCAM エントリと 21-18
デフォルト設定 36-14	VRF と 21-18
ネイバー探索 36-4	スタティック バインディング
パス MTU ディスカバリ 36-4	削除する 21-19
非サポート機能 36-10	追加する 21-18
モニタリング 36-26	設定時の注意事項 21-18
利点 36-2	説明 21-16
理由 36-1 IP アドレス	送信元 IP アドレスと MAC アドレスのフィルタリング 21-17
	送信元 IP アドレスのフィルタリング 21-17
128 ビット 36-2 IPv6 36-2	デフォルト設定 21-17
IP ルーティング 35-4	トランク インターフェイスと 21-18
$MAC \ 7 \ FV \rightarrow TV \rightarrow$	バインディング設定
クラス 35-6	自動的な 21-16
クラスタ アクセス 5-2	手動での 21-16
検出する 6-27	バインディング テーブル 21-16
候補またはメンバ 5-4, 5-13	表示する
コマンドスイッチ 5-3 , 5-11 , 5-13	設定 21-20
冗長クラスタ 5-11	バインディング 21-20
スタンバイ コマンド スイッチ 5-11, 5-13	フィルタリング
デフォルト設定 35-5	送信元 IP アドレス 21-17
モニタリング 35-18	送信元 IP アドレスと MAC アドレス 21-17
「IP 情報」も参照	プライベート VLAN の 21-18
IP サービス イメージ 1-1	ポート セキュリティと 21-18
IP サービス レベル契約	ルーテッド ポートと 21-18
「IP SLA」を参照	IP ダイレクト ブロードキャスト 35-14
IP サービス レベル、分析する 40-1	IP 電話
IP 情報	QoS でポート セキュリティを確立する 33-40
デフォルト設定 3-3	QoS と 14-1

QoS の信頼境界 33-40	自動 RP 43-7
自動分類とキューイング 33-21	シスコの実装 43-2
設定する 14-5	自動 RP
IP ブロードキャスト アドレス 35-16	BSR による使用 43-25
IP プロトコル	概要 43-7
ACL での 32-12	既存の SM クラウドへの追加 43-17
ルーティング 1-11	キャッシュのクリア 43-55
IP マルチキャスト ルーティング	候補 RP スプーフィングの禁止 43-20
IGMP スヌーピングと 23-2	新規インターネットワークでの設定 43-17
MBONE	設定時の注意事項 43-12
sdr キャッシュ エントリの削除 43-55	着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルクリング 43-20
sdr キャッシュ エントリの存在期間の制 限 43-39	問題のある RP への Join メッセージの送信禁 止 43-19
sdr キャッシュの表示 43-56	利点 43-17
sdr リスナー サポート機能のイネーブル 化 43-38	設定
Session Directory(sdr)ツール、説明 43-38	IP マルチキャスト境界 43-39
アドバタイズされる DVMRP ルートの制	基本的なマルチキャストルーティング 43-12
限 43-50	デフォルト設定 43-10
会議セッション アナウンスメント用の SAP パ ケット 43-38	統計情報、システムおよびネットワークの表 示 43-55
説明 43-38	ブート ストラップ ルータ
PIMv1 および PIMv2 の相互運用性 43-11	IP マルチキャスト境界の定義 43-22
RP	PIM ドメイン境界の定義 43-21
PIMv2 BSR の設定 43-21	概要 43-7
自動 RP および BSR の使用 43-25	候補 BSR の設定 43-23
自動 RP の設定 43-17	候補 RP の設定 43-24
手動での割り当て 43-15	自動 RP による使用 43-25
マッピング情報のモニタリング 43-26	設定時の注意事項 43-12
アドレス	プロトコルの動作 43-2
すべてのマルチキャストルータ 43-3	マルチキャスト転送、説明 43-8
全ホスト 43-3	モニタリング
ホスト グループ アドレス範囲 43-3	パケット速度および損失情報 43-56
イネーブル化	パスのトレース 43-56
PIM モード 43-14	ピアリング デバイス 43-56
マルチキャスト転送 43-13	ルーティング テーブル
管理用スコープの境界、説明 43-39	削除 43-55
逆経路チェック(RPF) 43-8	表示 43-55
グループ /RP マッピング	「CGMP」も参照
BSR 43-7	「DVMRP」も参照

「IGMP」も参照	ブロードキャスト
「PIM」も参照	アドレス 35-16
IP ユニキャスト ルーティング	ストーム 35-14
ARP 35-9	パケット 35-14
EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス 35-4	フラッディング 35-17
IGP 35-26	プロキシ ARP 35-9
IPv6 36-3	プロトコル
IP アドレス指定	ダイナミック 35-3
クラス 35-6	ディスタンスベクトル 35-3
設定 35-4	リンクステート 35-3
IRDP 35-12	ルーテッド ポート 35-3
MAC アドレスおよび IP アドレス 35-8	レイヤ 3 インターフェイス 35-3
SVI を使用 35-3	レイヤ 3 インターフェイスへの IP アドレスの割り当
UDP 35-16	7 35-6
VLAN 間 35-2	「BGP」も参照
アドミニストレーティブ ディスタンス 35-84, 35-95	「EIGRP」も参照 「OSPF」も参照
アドレス解決 35-8	「RIP」も参照
イネーブル化 35-19	IP ルーティング
逆アドレス解決 35-8	イネーブル化 35-19
クラスレス ルーティング 35-7	インターフェイスを接続する 10-10
再配信 35-85	ディセーブル化 35-19
サブネットゼロ 35-6	IP ルート、モニタリング 35-97
サブネット マスク 35-6	IRDP
受動インターフェイス 35-93	サポート 1-12
スーパーネット 35-7	設定 35-13
スタティック ルーティング 35-3	定義 35-12
スタティック ルートの設定 35-83	ISL
設定する手順 35-4	IEEE 802.1 トンネリングによるトランキング 16-5
ダイナミック ルーティング 35-3	IPv6 と 36-3
ダイレクト ブロードキャスト 35-14	カプセル化 1-7, 12-17
ディセーブル化 35-19	トランク ポートと 10-3
デフォルト	
アドレス指定の設定 35-5	J
ゲートウェイ 35-12	J
ネットワーク 35-85	join メッセージ、IGMP 23-3
ルーティング 35-3	
ルート 35-85	

認証キー 35-96

K	Link Layer Discovery Protocol
	「CDP」を参照
KDC	Link State Advertisement (LSA) 35-30
説明 8-32	LLDP
「Kerberos」も参照	概要 26-1
Kerberos	サポートされる TLV 26-2
KDC 8-32	スイッチ スタックの考慮事項 26-2
TGT 8-34	設定
暗号化ソフトウェア イメージ 8-32	デフォルト設定 26-3
クレデンシャル 8-33	設定する 26-3
サーバ 8-34	特性 26-4
サポート 1-10	送信タイマーとホールドタイム、設定する 26-4
信頼済みサード パーティとしてのスイッチ 8-32	ディセーブル化およびイネーブル化
設定 8-36	インターフェイス上 26-5
設定例 8-32	グローバル 26-4
説明 8-32	モニタリングとメンテナンス 26-7
操作 8-34	LLDP-MED
チケット 8-33	概要 26-1, 26-2
認証する	サポートされる TLV 26-2
KDC 8-35	設定する
境界スイッチ 8-35	TLV 26-6
ネットワーク サービス 8-35	手順 26-3
用語 8-33	モニタリングとメンテナンス 26-7
レルム 8-34	LLDP Media Endpoint Discovery
	「LLDP-MED」を参照
<u> </u>	Long-Reach Ethernet (LRE) テクノロジー 1-18
L	LRE プロファイル、スイッチ クラスタでの考慮事
l2protocol-tunnel コマンド 16-13	項 5-15
LACP	
「EtherChannel」を参照	M
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-9	101
LAN ベース イメージ 38-1	MAB エージング タイム 1-8
LDAP 4-2	MAB 非アクティビティ タイマー
LED、スイッチ	デフォルト設定 9-22
「ハードウェア インストレーション ガイド」を参照	範囲 9-25
Lightweight Directory Access Protocol	MAC/PHY コンフィギュレーション ステータス
「LDAP」を参照	TLV 26-2
Link Aggregation Control Protocol	MAC アドレス
「EtherChannel」を参照	ACL での 32-27

IP アドレス アソシエーション 35-8	MHSRP 39-3
IP ソース バインディング テーブルで表示す	MIB
る 21-20	FTP でファイルにアクセスする A-3
VLAN との対応付け 6-20	SNMP の相互作用 31-4
アドレス テーブルを構築する 6-20	サポートされる A-1
エージング タイム 6-21	ファイルの場所 A-3
検出する 6-27	MIBs
スタティック	概要 31-1
許可する 6-26	MSDP
削除する 6-25	MSDP 接続および統計情報のクリア 44-19
追加する 6-25	SA メッセージ
特性 6-24	キャッシュ エントリのクリア 44-19
ドロップする 6-26	モニタリング 44-19
ダイナミック	Source-Active メッセージ
削除する 6-22	TTL によるデータの制限 44-14
ラーニング 6-20	アドバタイズされる送信元の制限 44-10
デフォルト設定 6-21	キャッシング 44-7
表示する 6-27	着信のフィルタリング 44-15
MAC アドレス /VLAN マッピング 12-29	定義 44-2
MAC アドレス通知、サポート 1-13	ピアからのフィルタリング 44-11
MAC アドレス テーブル移動更新	ピアへのフィルタリング 44-13
設定時の注意事項 20-5	概要 44-1
設定する 20-9	加入遅延、定義 44-7
説明 20-3	サポート 1-12
デフォルト設定 20-4	送信元情報の制御
モニタリング 20-12	スイッチから発信 44-10
MAC 拡張アクセス リスト	スイッチで受信 44-14
QoS 分類の 33-5	スイッチによる転送 44-12
QoS を設定する 33-47	デフォルト設定 44-4
作成する 32-27	デンス モード領域
定義済み 32-27	SA メッセージの送信 44-17
レイヤ 2 インターフェイスに対して適用する 32-28	発信元アドレスの指定 44-18
MAC 認証バイパス	発信元アドレス、変更 44-18
「MAB」を参照	ピア
maximum-paths コマンド 35-52, 35-83	シャットダウン 44-16
MDA	送信元情報の要求 44-9
設定時の注意事項 9-19 ~ 9-20	デフォルトの設定 44-4
説明 1-9, 9-19	ピアリング関係、概要 44-1
認証プロセスでの例外 9-4	エーカリンガ 44 40

ピア RPF フラッディング 44-2	サポートされるスパニングツリー インスタン ス 18-2
フィルタリング	設定 18-16
着信 SA メッセージ 44-15	説明 18-2
ピアからの SA 要求 44-11	ホップ カウント メカニズム 18-6
ピアへの SA メッセージ 44-13	Port Fast
メッシュ グループ	イネーブルにする 19-10
設定 44-16	説明 19-2
定義 44-16	Port Fast 対応ポートのシャットダウン 19-2
利点 44-3	VLAN \geq MST $+0.5$ $+$
MSTP	インターフェイスの状態、転送のブロッキン
BPDU ガード	インターフェイスの状態、転送のフロウィン グ 19-2
イネーブルにする 19-11	概要 18-2
説明 19-2	拡張システム ID
BPDU フィルタリング	異常動作 18-18
イネーブルにする 19-12	セカンダリ ルート スイッチへの影響 18-19
説明 19-3	ルート スイッチへの影響 18-18
CIST、説明 18-3	境界ポート
CIST リージョナル ルート 18-3, 18-6	設定時の注意事項 18-16
CIST ルート 18-5	説明 18-6
CST	サポートされるインスタンス 17-10
定義 18-3	サポートされるオプション機能 1-7
リージョン間の動作 18-4	ステータスの表示 18-26
EtherChannel ガード	ステータス、表示 18-26
イネーブルにする 19-15	設定
説明 19-7	MST リージョン 18-16
IEEE 802.1D との相互運用性	高速コンバージェンス用リンク タイプ 18-24
移行プロセスの再起動 18-26	最大エージング タイム 18-24
説明 18-9	最大ホップ カウント 18-24
IEEE 802.1s	スイッチ プライオリティ 18-22
実装 18-7	セカンダリ ルート スイッチ 18-19
ポートの役割名の変更 18-7	転送遅延時間 18-23
用語 18-5	ネイバー タイプ 18-25
IST	パス コスト 18-21
定義 18-3	ポート プライオリティ 18-20
マスター 18-3	ルート スイッチ 18-17
リージョン内の動作 18-3	設定時の注意事項 18-15, 19-10
MST リージョン	設定する
CIST 18-3	hello タイム 18-22
IST 18-3	

デフォルト設定 18-15	グローバル パラメータを設定する 23-22
デフォルトのオプション機能設定 19-10	サポート 1-4
モード間での相互運用性と互換性 17-10	設定時の注意事項 23-22
モードのイネーブル化 18-16	説明 23-18
ルートガード	デフォルト設定 23-21
イネーブルにする 19-16	マルチキャスト TV アプリケーション 23-19
説明 19-8	モード 23-23
ルートスイッチ	モニタリング 23-25
異常動作 18-18	
拡張システム ID の影響 18-18	N
設定 18-18	N
ルート スイッチ選択を防止する 19-8	NAC
ループ ガード	AAA ダウン ポリシー 1-10
イネーブルにする 19-16	RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 検証 9-40
説明 19-9	RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 認証 9-40
Multicast Source Discovery Protocol	アクセス不能認証バイパス 1-10, 9-36
「MSDP」を参照	クリティカル認証 9-14, 9-36
multicast storm-control コマンド 24-4	レイヤ 2 IEEE 802.1x 検証 1-9, 9-40
Multiple HSRP	レイヤ 2 IEEE802.1x 検証 9-18
「MHSRP」を参照	レイヤ 2 IP 検証 1-9
Multiple VPN Routing/Forwarding、カスタマー エッジ デ	NameSpace Mapper
バイスでの	「NSM」を参照
「Multi-VRF CE」を参照	Network Admission Control
Multi-VRF CE	NAC
サポート 1-12	Network Admission Control Software Configuration
設定 35-67	Guide 9-42 , 9-43
設定時の注意事項 35-68	Network Assistant
設定例 35-77	guide モード 1-3
定義 35-65	イメージ ファイルをダウンロードする 1-3
デフォルト設定 35-68	ウィザード 1-3
ネットワーク コンポーネント 35-67	管理オプション 1-2
パケット転送処理 35-67	スイッチをアップグレードする B-24
表示 35-80	説明 1-5
モニタリング 35-80	要件 3-xlii
MVR	利点 1-2
IGMPv3 & 23-22	no switchport コマンド 10-4
アドレスのエイリアス 23-22	Not-So-Stubby-Area
アプリケーション例 23-19	「NSSA」を参照
インターフェイスの設定 23-24	no コマンド 2-4

NSM 4-3	設定 35-27
NSSA、OSPF 35-30	メトリック 35-32
NTP	ルート 35-32
アクセスを制限する	モニタリング 35-34
アクセス グループを作成する 6-9	ルータ ID 35-34
インターフェイスごとに NTP サービスをディ セーブルにする 6-10	ルート集約 35-32
アソシエーション	
サーバ 6-5	Р
定義済み 6-2	PAgP
認証する 6-4	「EtherChannel」を参照
ピア 6-5	レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-9
ブロードキャスト メッセージをイネーブルにする 6-7	PBR
概要 6-2	イネーブル化 35-91
サポート 1-6	高速スイッチングされたポリシーベース ルーティン グ 35-92
時刻	定義 35-89
サービス 6-2	ローカル ポリシーベース ルーティング 35-93
同期をとる 6-2	PC(パッシブ コマンド スイッチ) 5-10
設定を表示する 6-11	PE/CE ルーティング、設定 35-76
層 6-2	Per-VLAN Spanning-Tree plus
送信元 IP アドレス、設定する 6-10	「PVST+」を参照
デバイスの同期をとる 6-5	PIM
デフォルト設定 6-4	Shortest Path Tree、使用の延期 43-28 概要 43-4
	概
0	サポート 1-12
Open Shortest Path First	スタブ ルーティング
「OSPF」を参照	イネーブル化 43-14
OSPF	概要 43-5
IPv6 用 36-24	表示 43-56
LSA グループ ペーシング 35-33	スパースモード
インターフェイス パラメータ、設定 35-29	RPF 検索 43-9
エリア パラメータ、設定 35-30	概要 43-5
仮想リンク 35-32	加入メッセージおよび共有ツリー 43-5
サポート 1-11	プルーニング メッセージ 43-5
設定 35-28	デフォルト設定 43-10
説明 35-26	デンスモード
デフォルト設定	RPF 検索 43-9

概要 43-5	説明 19-2
ランデブー ポイント (RP)、説明 43-5	モード、スパニングツリー 12-31
ネイバーの表示 43-56	Protocol-Independent Multicast Protocol
バージョン	「PIM」を参照
v2 の改善点 43-4	PVST+
相互運用性 43-11	IEEE 802.1Q トランキングの相互運用性 17-11
相互運用性に関するトラブルシューティン	サポートされるインスタンス 17-10
グ 43-26	説明 17-9
モードのイネーブル化 43-14	
ルータ クエリー メッセージ インターバル、変 更 43-29	2
PIM-DVMRP 、スヌーピング方式としての 23-9	Q
ping	QoS
	DSCP 透過 33-42
概要 46-13 実行する 46-14	IP 電話
天11 y る 40-14 文字出力の説明 46-14	検出と信頼済みの設定 33-21, 33-40
PoE	自動分類とキューイング 33-21
auto モード 10-8	MQC コマンドと 33-1
CDP に対する電力ネゴシエーションの拡張機	QoS ラベル、定義済み 33-4
能 10-7	暗黙の拒否 33-8
Cisco インテリジェント電力管理 10-7	概要 33-2
IEEE 電力分類レベル 10-7	基本モデル 33-4
static モード 10-9	キュー
サポートされるデバイス 10-6	SRR、説明 33-15
サポートされる標準 10-7	WTD、説明 33-14
受電装置の検出と初期電力割り当て 10-7	高優先順位(緊急) 33-20, 33-80
設定する 10-23	出力特性を設定する 33-73
低電力モードで動作する高電力装置 10-7	入力特性を設定する 33-69
電力管理モード 10-8	場所 33-14
電力消費 10-24	クラス マップ
電力消費を伴う CDP、説明 10-7	設定する 33-48
電力ネゴシエーションを伴う CDP、説明 10-7	表示 33-81
トラブルシューティング 46-12	グローバルにイネーブルにする 33-37
パワー バジェット 10-24	再書き込み 33-21
ポートごとにサポートされるワット数 10-6	サポート 1-10
Port Aggregation Protocol	自動 QoS
「EtherChannel」を参照	VoIP 用にイネーブル化 33-28
Port Fast	実行コンフィギュレーションでの影響 33-26
イネーブルにする 19-10	出力キューのデフォルト 33-22
サポート 1-7	初期設定を表示する 33-32

Catalyst 3560 スイッチ ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド ■

生成コマンドのリスト 33-23	信賴境界 33-40
生成コマンドを表示する 33-29	デフォルト ポート CoS 値 33-40
設定時の注意事項 33-27	ドメイン内のポートの信頼状態 33-38
設定とデフォルト表示 33-32	入力キューの特性 33-69
設定例 33-30	別のドメインとの境界での DSCP 信頼状
説明 33-21	態 33-43
ディセーブルにする 33-29	ポリシー マップ、階層型 33-54
トラフィックを分類する 33-22	デフォルト自動設定 33-22
入力キューのデフォルト 33-22	デフォルトの標準設定 33-33
出力インターフェイスで帯域幅を制限する 33-80	統計情報を表示する 33-81
出力キュー	入力キュー
DSCP 値または CoS 値のマッピング 33-76	DSCP 値または CoS 値のマッピング 33-70
SRR の共有重みを設定する 33-79	SRR の共有重みを設定する 33-72
SRR のシェーピング重みを設定する 33-78	WTD しきい値の設定 33-70
WTD しきい値の設定 33-74	WTD、説明 33-17
WTD、説明 33-20	しきい値マップを表示する 33-70
しきい値マップを表示する 33-77	スケジューリング、説明 33-4
スケジューリング、説明 33-4	説明 33-4
説明 33-4	帯域幅を割り当てる 33-72
バッファ領域を割り当てる 33-74	バッファと帯域幅の割り当て、説明 33-17
バッファ割り当てスキーム、説明 33-19	バッファ領域を割り当てる 33-71
フローチャート 33-18	プライオリティ キュー、説明 33-17
信頼状態	プライオリティ キューを設定する 33-72
信頼済みデバイス 33-40	フローチャート 33-16
説明 33-5	パケットの変更 33-21
ドメイン内 33-38	フローチャート
別のドメインとの境界 33-43	出力キューイングとスケジューリング 33-18
設定時の注意事項	入力キューイングとスケジューリング 33-16
自動 QoS 33-27	分類 33-7
標準 QoS 33-35	ポリシングとマーキング 33-11
設定する	分類
DSCP の透過性 33-42	DSCP の透過性、説明 33-42
DSCP マップ 33-63	IP ACL、説明 33-6, 33-8
IP 拡張 ACL 33-46	IP トラフィックのオプション 33-6
IP 標準 ACL 33-45	MAC ACL、説明 33-5, 33-8
MAC ACL 33-47	クラス マップ、説明 33-8
自動 QoS 33-21	信頼 DSCP、説明 33-5
集約ポリシング機能 33-61	信頼 IP precedence、説明 33-5
出力キューの特性 33-73	信頼済み CoS、説明 33-5

定義済み 33-4	R
転送処理 33-3 非 IP トラフィックのオプション 33-5	RADIUS
フレームとパケットでの 33-3	AAA サーバ グループを定義する 8-25
フローチャート 33-7	概要 8-18
ポリシー マップ、説明 33-8	クラスタでの 5-14
ポリサー	サーバを指定する 8-20
設定 33-53, 33-58, 33-61	サポート 1-10
ポリシー、インターフェイスに接続する 33-10	設定する
ポリシーマップ	アカウンティング 8-28
SVI での階層 33-54	許可 8-27
階層 33-9	通信、グローバル 8-21, 8-29
特性 33-50	通信、サーバ単位 8-20, 8-21
表示する 33-82	認証 8-23
物理ポートでの非階層 33-50	複数 UDP ポート 8-20
ポリシング	設定を表示する 8-32
説明 33-4, 33-9	操作 8-19
・ トークン バケット アルゴリズム 33-10	属性
ポリシング機能	ベンダー固有 8-29
数 33-36	ベンダー専用 8-31
説明 33-9	デフォルト設定 8-20
タイプ 33-10	ネットワーク環境の提案 8-18
表示する 33-81	方式リスト、定義済み 8-20
マーキング、説明 33-4, 33-9	ユーザに対するサービスを制限する 8-27
マークダウン アクション 33-53, 33-58	ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキン
マッピング テーブル	グする 8-28
CoS/DSCP 33-63	Rapid Per-VLAN Spanning-Tree plus
DSCP/CoS 33-66	「Rapid PVST+」を参照
DSCP/DSCP 変換 33-67	Rapid PVST+
IP precedence/DSCP 33-64	IEEE 802.1Q トランキングの相互運用性 17-11
タイプ 33-13	サポートされるインスタンス 17-10
表示する 33-81	説明 17-9
ポリシング済み DSCP 33-65	RARP 35-9
QoS の CoS 入力キューしきい値マップ 33-17	rcommand コマンド 5-15
QoS の DSCP 入力キューしきい値マップ 33-17	RCP
Quality Of Service	イメージ ファイル
「QoS」を参照	アップロードする B-40
Quality of Service	サーバを準備する B-35
「QoS」を参照	ダウンロードする B-37

古いイメージを削除する B-39	サポートされるグループ 29-2
コンフィギュレーション ファイル	ステータスを表示する 29-6
アップロードする B-18	デフォルト設定 29-3
概要 B-16	統計情報
サーバを準備する B-16	グループ イーサネットを収集する 29-5
ダウンロードする B-17	グループ履歴を収集する 29-5
Remote Authentication Dial-In User Service	route-map コマンド 35-92
「RADIUS」を参照	Routing Information Protocol
RFC	「RIP」を参照
1058、RIP 35-20	RSPAN
1112、IP マルチキャストと IGMP 23-2	VLAN ベース 28-6
1157、SNMPv1 31-2	宛先ポート 28-7
1163、BGP 35-43	概要 1-13, 28-1
1166、IP アドレス 35-6	受信トラフィック 28-4
1253、OSPF 35-26	ステータスを表示する 28-25
1267、BGP 35-43	セッション
1305、NTP 6-2	作成する 28-19
1587、NSSA 35-26	定義済み 28-3
1757、RMON 29-2	特定の VLAN に対する送信元トラフィックを制
1771、BGP 35-43	限する 28-24
1901、SNMPv2C 31-2	入力トラフィックをイネーブルにする 28-22
$1902 \sim 1907$, SNMPv2 31-2	モニタリングされるポートを指定する 28-19
2236、IP マルチキャストと IGMP 23-2	設定時の注意事項 28-18
2273-2275、SNMPv3 31-2	送信トラフィック 28-5
RIP	送信元ポート 28-5
IPv6 用 36-22	他の機能との相互動作 28-8
アドバタイズメント 35-20	定義済み 28-2
サポート 1-11	デフォルト設定 28-9
サマリー アドレス 35-24	特性 28-8
スプリット ホライズン 35-24	モニタリングされるポート 28-5
設定 35-21	モニタリング ポート 28-7
説明 35-20	RSTP
デフォルト設定 35-21	BPDU
認証 35-23	形式 18-12
ホップ カウント 35-20	处理 18-13
RMON	IEEE 802.1D との相互運用性
アラームとイベントをイネーブルにする 29-3	移行プロセスの再起動 18-26
概要 29-1	説明 18-9
サポート 1-13	トポロジの変更 18-13

show configuration コマンド 10-25
show forward コマンド 46-20
show interfaces $\neg \neg \neg \neg \vdash \vdash$ 10-20, 10-25
show l2protocol コマンド 16-14, 16-16
show lldp traffic コマンド 26-8
show platform forward コマンド 46-20
show running-config コマンド
ACL を表示する 32-20, 32-21, 32-32, 32-35
インターフェイスの説明 10-25
show コマンドと more コマンドの出力、フィルタリン
グ 2-10
shutdown コマンド、インターフェイスでの 10-31
SmartPort マクロ
Web サイト 11-2
グローバル パラメータ値の適用 11-5, 11-6
作成 11-4
シスコのデフォルト マクロの適用 11-6
設定時の注意事項 11-3
定義 11-1
デフォルト設定 11-2
トレース 11-3
パラメータ値の適用 11-5, 11-7
表示 11-8
マクロの適用 11-5
SNAP 25-1
SNMP
ifIndex 值 31-6
IP SLA と 40-2
MIB
サポートされる A-1
場所 A-3
MIB 変数にアクセスする 31-4
TFTP サーバによるアクセスを制限する 31-16
エージェント
説明 31-4
ディセーブルにする 31-8
エンジン ID 31-7
概要 31-1, 31-4
クラスタでの 5-14

クラスタを管理する 5-16	VLANベース 28-6
グループ 31-7, 31-10	宛先ポート 28-7
コミュニティ ストリング	概要 1-13, 28-1
概要 31-4	受信トラフィック 28-4
クラスタ スイッチの 31-4	ステータスを表示する 28-25
設定する 31-8	セッション
サポートされるバージョン 31-2	宛先(モニタリング)ポートを削除する 28-13
システム接点と場所 31-16	作成する 28-11
システム ログ メッセージを NMS に対して制限す	定義済み 28-3
る 30-10 情報	特定の VLAN に対する送信元トラフィックを制 限する 28-16
イネーブルにする 31-16	入力転送を設定する 28-15, 28-23
説明 31-5	入力トラフィックをイネーブルにする 28-14
ディセーブルにする 31-16	モニタリングされるポートを指定する 28-11
トラップ キーワードと 31-12	設定時の注意事項 28-10
トラップとの違い 31-5	送信トラフィック 28-5
ステータス、表示する 31-18	送信元ポート 28-5
セキュリティ レベル 31-3	他の機能との相互動作 28-8
設定例 31-17	デフォルト設定 28-9
带域内管理 1-6	ポート、制約事項 24-11
通知 31-5	モニタリングされるポート 28-5
デフォルト設定 31-7	モニタリング ポート 28-7
トラップ	SPAN トラフィック 28-4
MAC アドレス通知をイネーブルにする 6-22	SRR
イネーブルにする 31-12	共有モード 33-15
概要 31-1, 31-5	サポート 1-11
情報との違い 31-5	シェーピング モード 33-15
説明 31-3, 31-5	設定する
タイプ 31-13	出力キューでの共有重み 33-79
ディセーブルにする 31-16	出力キューでのシェーピング重み 33-78
トラップ マネージャ、設定する 31-14	入力キューでの共有重み 33-72
認証レベル 31-11	説明 33-15
ホスト 31-7	SSH
マネージャ機能 1-5, 31-3	暗号化ソフトウェア イメージ 8-37
ユーザ 31-7, 31-10	暗号化方式 8-38
SNMPv1 31-2	設定 8-39
SNMPv2C 31-2	説明 1-6, 8-38
SNMPv3 31-2	ユーザ認証方式、サポートされる 8-38
SPAN	SSL

暗号化ソフトウェア イメージ 8-42	ディセーブル 17-7
セキュア HTTP クライアントを設定する 8-48	転送する 17-5, 17-7
セキュア HTTP サーバを設定する 8-46	ブロッキング 17-6
設定時の注意事項 8-45	ラーニング 17-6
説明 8-42	リスニング 17-6
モニタリング 8-48	インターフェイスの状態、転送のブロッキン グ 19-2
standby ip コマンド 39-5 STP	下位 BPDU 17-3
BackboneFast	概要 17-2
	カウンタ、クリア 17-24
イネーブルにする 19-14	拡張システム ID
説明 19-5	概要 17-4
ディセーブルにする 19-15	セカンダリ ルート スイッチの影響 17-17
BPDU ガード	予期しない動作 17-16
イネーブルにする 19-11	ルート スイッチの影響 17-15
説明 19-2 ディセーブルにする 19-12	間接リンク障害を検出する 19-5
BPDU フィルタリング	キープアライブ メッセージ 17-3
イネーブルにする 19-12	サポートされるインスタンス 17-10
説明 19-3	サポートされるオプション機能 1-7
ディセーブルにする 19-13	サポートされる機能 1-6
BPDU メッセージ交換 17-3	サポートされるプロトコル 17-9
EtherChannel ガード	サポートされるモード 17-9
イネーブルにする 19-15	指定スイッチ、定義済み 17-4
説明 19-7	指定ポート、定義済み 17-4
ディセーブルにする 19-15	冗長接続性 17-8
IEEE 802.1D とブリッジ ID 17-4	ステータス、表示する 17-23
IEEE 802.1D とマルチキャスト アドレス 17-8	ステータスを表示する 17-23
IEEE 802.1Q トランクでの制限 17-10	設定
IEEE 802.1t と VLAN 識別情報 17-4	hello タイム 17-21
Port Fast	最大エージング タイム 17-22
イネーブルにする 19-10	セカンダリ ルート スイッチ 17-17
説明 19-2	転送遅延時間 17-22
Port Fast 対応ポートのシャットダウン 19-2	ポート プライオリティ 17-17
UplinkFast	設定時の注意事項 17-12, 19-10
イネーブルにする 19-14	設定する
説明 19-3	スイッチ プライオリティ 1 7-20
VLAN ブリッジ 17-11	スパニングツリー モード 17-14
インターフェイスの状態	転送保留カウント 17-23
概要 17-4	パス コスト 17-19

ルート スイッチ 17-15	switchport block multicast コマンド 24-7
タイマー、説明 17-21	switchport block unicast コマンド 24-7
ディセーブルにする 17-15	switchport mode dot1q-tunnel コマンド 16-7
デフォルト設定 17-12	switchport protected コマンド 24-6
デフォルトのオプション機能設定 19-10	switchport コマンド 10-15
パス コスト 12-27, 12-28	Syslog
ポート プライオリティ 12-26	「システム メッセージ ロギング」を参照
マルチキャストアドレス、影響 17-8	
モード間での相互運用性と互換性 17-10	_
優位 BPDU 17-3	Т
ルート ガード	TACACS+
イネーブルにする 19-16	アカウンティング、定義済み 8-11
説明 19-8	概要 8-10
ルート スイッチ	許可、定義済み 8-11
拡張システム ID の影響 17-4, 17-15	クラスタでの 5-14
設定する 17-15	サーバを指定する 8-13
選択 17-3	サポート 1-10
予期しない動作 17-16	設定する
ルート スイッチ選択を防止する 19-8	アカウンティング 8-17
ルート ポート選択のアクセラレーション 19-4	許可 8-16
ルート ポート、定義済み 17-3	認証キー 8-13
ループ ガード	ログイン認証 8-14
イネーブルにする 19-16	設定を表示する 8-17
説明 19-9	操作 8-12
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-8	デフォルト設定 8-13
ロード シェアリング	認証、定義済み 8-11
概要 12-25	ユーザに対するサービスを制限する 8-16
パス コストを使用する 12-27	ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキン
ポート プライオリティを使用する 12-26	グする 8-17
subnet mask 35-6	tar ファイル
SunNet Manager 1-5	イメージ ファイルの形式 B-26
SVI	作成する B-6
IP ユニキャスト ルーティング 35-3	抽出する B-7
VLAN 間でのルーティング 12-2	内容を表示する B-6
VLAN の接続 10-9	TDR 1-13
定義 10-5	Telnet
ルータ ACL 32-4	管理インターフェイスにアクセスする 2-10
Switch Database Management	接続数 1-6
「SDM」を参昭	パスワードを設定する 8-6

Terminal Access Controller Access Control System Plus	U
「TACACS+」を参照	
TFTP	UDLD
イメージファイル	イネーブル化
アップロードする B-29	グローバル 27-5
サーバを準備する B-27	イネーブルにする
削除する B-29	インターフェイスごとの 27-5
ダウンロードする B-28	インターフェイスをリセットする 27-6
コンフィギュレーション ファイル	概要 27-1
アップロードする B-12	検出メカニズムをエコーする 27-3
サーバを準備する B-10	サポート 1-6
ダウンロードする B-11	ステータス、表示する 27-7
サーバによるアクセスを制限する 31-16	設定時の注意事項 27-4
自動設定を設定する 3-6	ディセーブルにする
ベース ディレクトリのコンフィギュレーション ファ	インターフェイスごとの 27-5
イル 3-6	グローバルに 27-5
TFTP サーバ 1-5	光ファイバ インターフェイスでの 27-5
time-range コマンド 32-17	デフォルト設定 27-4
TLV	ネイバー データベース 27-2
LLDP 26-2	リンク検出メカニズム 27-1
LLDP-MED 26-2	レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-10
定義済み 26-2 ToS 1-10	UDLD シャットダウン インターフェイスをリセットする 27-6
traceroute コマンド 46-17	UDP ジッタ、設定する 40-9
「IP traceroute」も参照	UDP ジッタ動作、IP SLA 40-8
traceroute、レイヤ 2	UDP、設定 35-16
1 ポートに複数のデバイス 46-16	unicast storm control コマンド 24-4
ARP 46-16	UNIX Syslog サーバ
CDP 46-15	サポートされる機能 30-14
IP アドレスおよびサブネット 46-16	デーモンの設定 30-12
MAC アドレスおよび VLAN 46-15	メッセージ ロギング設定 30-13
説明 46-15	UplinkFast
ブロードキャスト トラフィック 46-15	イネーブルにする 19-14
マルチキャスト トラフィック 46-15	サポート 1-7
ユニキャスト トラフィック 46-15	説明 19-3
tracerout、レイヤ 2	ディセーブルにする 19-14
使用上の注意事項 46-15	

V	標準範囲 12-1, 12-5 変更する 12-9
VLAN	スピッジ 12-9 ポート メンバーシップ モード 12-3
1006 ~ 4094 の ID を設定する 12-13	マルチキャスト 23-18
config-vlan モードで作成 12-9	vlan.dat ファイル 12-5
RSPAN での送信元トラフィックを制限する 28-24 SPAN での送信元トラフィックを制限する 28-16	VLAN 1、トランク ポート上でディセーブルにする 12-23
STP と IEEE 802.1Q トランク 17-10 SVI による接続 10-9 VLAN コンフィギュレーション モードで作成 12-10	VLAN 1 の最小化 12-23 VLAN ACL 「VLAN マップ」を参照 vlan database コマンド 12-7
VLAN データベースに追加する 12-9	vlan dot1q tag native コマンド 16-5
VLAN ブリッジ STP 17-11, 45-2	VLAN ID、検出する 6-27
VTP モード 13-3	VLAN Query Protocol
拡張範囲 12-1, 12-12	「VQP」を参照
機能 1-7	VLAN 間ルーティング 1-11, 35-2
サービス プロバイダー ネットワーク内のカスタマー 番号 16-3	VLAN 管理ドメイン 13-2 vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド 12-7
削除する 12-11	VLAN コンフィギュレーション モード 2-2, 12-7
サポートされる 12-2	VLAN 設定
サポートされる番号 1-7	起動時 12-8
図示 12-2	保存 12-8
スタティック アクセス ポート 12-12	VLAN データベース
スパニングツリー インスタンスと 12-3, 12-7, 12-13	VLAN の保存 12-5
設定 12-1	VTP & 13-1
設定オプション 12-7	スタートアップ コンフィギュレーション ファイル と 12-8
設定時の注意事項、拡張範囲 VLAN 12-13	保存されている VLAN 設定 12-8
設定時の注意事項、標準範囲 VLAN 12-6	VLAN トランキング プロトコル
説明 10-2, 12-1	「VTP」を参照
ダイナミック アドレスのエージング 17-9	VLAN トランク 12-17
追加 12-9	VLAN の削除 12-11
デフォルト設定 12-8	VLAN フィルタリングと SPAN 28-6
トークンリング 12-6	VLAN マップ
トラフィック 12-2	ACL と VLAN マップの例 32-33
トランク上で許可される 12-22	一般的な使用方法 32-35
内部 12-14	サーバに対するアクセス拒否の例 32-36
ネイティブ、設定する 12-24	削除する 32-35
パラメータ 12-5	作成 32-32
表示 12-16	

サポート 1-8	VPN ルーティングおよび転送テーブル
設定時の注意事項 32-31	「VRF」を参照
設定する 32-29	VQP 1-7 , 12-29
定義済み 32-2	VRF
適用 32-35	定義 35-67
パケットの拒否と許可 32-32	テーブル 35-65
表示 32-43	VRF 認識サービス
ワイヤリング クローゼットの設定例 32-36	ARP 35-72
VLAN マップ エントリ、順序 32-31	ftp 35-75
VLAN マネジメント ポリシー サーバ	HSRP 35-72
「VMPS」を参照	ping 35-72
VLAN メンバーシップ	SNMP 35-72
確認する 12-33	syslog 35-74
モード 12-3	tftp 35-75
VLAN ロード バランシング、Flex Link の 20-2	traceroute 35-75
設定時の注意事項 20-5	uRPF 35-74
VLAN 割り当て応答、VMPS 12-29	設定 35-71
VMPS	VTP
MAC アドレスの VLAN へのマッピング 12-29	アドバタイズメント 12-20, 13-3
管理する 12-34	拡張範囲 VLAN と 13-1
サーバ アドレスを入力する 12-31	クライアント モード、設定する 13-12
再確認間隔、変更する 12-33	クライアントをドメインに追加する 13-15
設定時の注意事項 12-31	コンフィギュレーション モードのオプション 13-7
設定例 12-35	サーバ モード、設定する 13-10
説明 12-29	サポート 1-7
ダイナミック ポート メンバーシップ	使用する 13-1
再確認する 12-33	整合性検査 13-4
説明 12-30	設定
トラブルシューティング 12-35	VLAN コンフィギュレーション モード 13-8
デフォルト設定 12-30	クライアント モード 13-12
メンバーシップを再確認する 12-33	グローバル コンフィギュレーション モー
モニタリング 12-34	ド 13-7
リトライ回数、変更する 12-33	サーバ モード 13-10
Voice over IP 14-1	注意事項 13-8
VPN	特権 EXEC モード 13-7
サービス プロバイダー ネットワーク内 35-65	トランスペアレント モード 13-13
フォワーディング 35-68	保存する 13-8
ルーティングの設定 35-75	要件 13-9
12- b 35-66	設定の要件 13-9

設定リビジョン番号	イネーブル化 42-6
注意事項 13-15	クライアントから受信したトラフィックのリダイレク
リセットする 13-16	42-6
説明 13-1	サポートしない WCCPv2 機能 42-4
ディセーブル化 13-13	サポートしない機能 42-4
デフォルト設定 13-7	設定時の注意事項 42-5
統計情報 13-17	説明 42-1
トークンリングのサポート 13-4	ダイナミック サービス グループ 42-3
ドメイン 13-2	デフォルト設定 42-5
ドメイン名 13-8	転送方式 42-3
トランスペアレント モード、設定 13-13	認証 42-3
バージョン 1 13-4	ネゴシエーション 42-3
バージョン 2	パケットのリダイレクト 42-3
イネーブル化 13-14	パケット戻し方式 42-3
概要 13-4	パスワードの設定 42-7
設定時の注意事項 13-9	表示 42-9
ディセーブル化 13-14	メッセージ交換 42-2
バージョン、注意事項 13-9	モニタリングおよびメンテナンス 42-9
パスワード 13-9	レイヤ 2 ヘッダー書き換え 42-3
標準範囲 VLAN と 13-1	Web Cache Communication Protocol
プルーニング	「WCCP」を参照
イネーブルにする 13-15	Web 認証
概要 13-4	IEEE 802.1x のフォールバック 9-42
サポート 1-7	設定する 9-41 ~ 9-43
ディセーブルにする 13-15	説明 1-8, 9-20
例 13-6	Weighted Tail Drop
プルーニング適格リスト、変更する 12-24	「WTD」を参照
モード	WTD
クライアント 13-3, 13-12	サポート 1-11
サーバ 13-3, 13-10	しきい値を設定する
トランスペアレント 13-3, 13-13	出力キュー セット 33-74
変遷 13-3	入力キュー 33-70
モニタリング 13-17	説明 33-14
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-8	
	X
W	Ymodem 777 b 712 16-2

WCCP

MD5 セキュリティ **42-3**

<u></u>	RCP を使用する B-40
ø)	TFTP を使用する B-29
アカウンティング	準備する B-27, B-30, B-35
802.1x での 9-32	理由 B-25
IEEE 802.1x での 9-8	コンフィギュレーション ファイル
RADIUS での 8-28	FTP を使用する B-15
TACACS+ での 8-11, 8-17	RCP を使用する B-18
アクセス拒否応答、 VMPS 12-29	TFTP を使用する B-12
アクセス グループ	準備する B-10, B-13, B-16
IPv4 ACL をインターフェイスに対して適用する 32-21	理由 B-8 宛先 IP アドレス ベース転送、EtherChannel 34-7
レイヤ 2 32-21	宛先 MAC アドレス転送、Ether Channel 34-7
レイヤ 3 32-21	宛先アドレス
アクセス コントロール エントリ	IPv4 ACL での 32-12
「ACE」を参照	IPv6 ACL 38-6
アクセス コントロール エントリ (ACE) 38-3	アドバタイズメント
アクセスする	CDP 25-1
クラスタ、スイッチ 5-13	LLDP 26-2
コマンドスイッチ 5-11	RIP 35-20
スイッチ クラスタ 5-13	VTP 12-20, 13-3
メンバ スイッチ 5-13	アドミニストレーティブ ディスタンス
アクセス、テンプレートの 7-1	OSPF 35-32
アクセス不能認証バイパス 9-14	定義 35-95
アクセス ポート	ルーティング プロトコルのデフォルト 35-84
スイッチ クラスタでの 5-9	アドレス
定義済み 10-3	MAC アドレス テーブルを表示する 6-27
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-11	MAC、検出する 6-27
アクセス リスト	スタティック
「ACL」を参照	追加と削除 6-24
アクティブ トラフィック モニタリング、IP SLA 40-1	定義済み 6-19
アクティブ リンク 20-2	ダイナミック
アクティブ ルータ 39-1	エージング タイムを変更する 6-21
アップグレード情報	エージングのアクセラレーション 17-9
「リリース ノート」を参照	削除する 6-22
アップグレードする、ソフトウェア イメージを	定義済み 6-19
「ダウンロードする」を参照	デフォルト エージング 17-9
アップロードする	ラーニング 6-20
イメージファイル	マルチキャスト
FTP を使用する B-34	STP アドレス管理 17-8

グループ アドレス範囲 43-3	情報を表示する 10-30
アドレス解決 6-27, 35-8	ステータス 10-29
アドレス解決プロトコル	設定
「ARP」を参照	IPv4 および IPv6 36-17
アドレスのエイリアス 23-2	設定時の注意事項
アプリケーション エンジン、トラフィックのリダイレクト 42-1	デュプレックスと速度 10-18 設定する
アベイラビリティ、機能 1-6	手順 10-11
アラーム、RMON 29-3	説明 10-25
暗号化、CipherSuite 8-44	タイプ 10-1
暗号化ソフトウェア イメージ	デフォルト設定 10-15
Kerberos 8-32	デュプレックスと速度、設定する 10-19
SSH 8-37	範囲 10-11
SSL 8-42	範囲マクロ 10-13
暗号化、パスワードの 8-3	番号 10-10
	物理、指定する 10-10
15	フロー制御 10-20
L)	命名する 10-25
イーサネット VLAN	モニタリング 10-29
追加する 12-9	わかりやすい名前、追加 10-25
デフォルトと範囲 12-8	インターフェイス コマンド 10-10 ~ 10-11
変更する 12-9	インターフェイス コンフィギュレーション モード 2-3
イーサネット経由の電源供給	インターフェイス タイプ 10-10
「PoE」を参照	インベントリ管理 TLV 26-2, 26-6
一時的な自己署名証明書 8-43	
一致する、IPv4 ACL 32-7	
イネーブル パスワード 8-3	う
イベント、RMON 29-3	ウィザード 1-3
インターネット制御メッセージ プロトコル	
「ICMP」を参照	
インターネット プロトコル バージョン 6	え
「IPv6」を参照	永続的な自己署名証明書 8-43
インターフェイス	エージング タイム
Auto-MDIX、設定する 10-21	MAC アドレス テーブル 6-21
カウンタ、クリアする 10-31	アクセラレーション
管理 1-4	MSTP Ø 18-23
再起動 10-31	STP での 17-9, 17-22
サポートされる 10-10	最大
シャットダウンする 10-31	取八 MSTP 18-24

STP での 17-22, 17-23	<u></u> か
エージング、短縮 17-9	,,
エラー メッセージ、コマンド入力中の 2-5	階層、NTP 6-2
エリア ボーダ ルータ	階層型ポリシー マップ
「ABR」を参照	設定時の注意事項 33-35
	設定する 33-54
お	説明 33-12
க	階層ポリシー マップ 33-9
応答側、IP SLA	ガイド モード 1-3
イネーブルにする 40-7	回復手順 46-1
説明 40-4	外部ネイバー、BGP 35-47
応答時間、IP SLA で測定する 40-4	カウンタ、インターフェイスをクリアする 10-31
オブジェクト トラッキング	拡散更新アルゴリズム(DUAL) 35-35
HSRP 41-7	拡張 crashinfo ファイル 46-23
IP SLA 41-9	拡張 IGRP
IP SLA、設定 41-9	「EIGRP」を参照
モニタリング 41-10	拡張 IP サービス イメージ 36-1
オブジェクトのトラッキング 41-1	拡張オブジェクト トラッキング
オプション、管理 1-4	HSRP 41-7
音声 VLAN	IP SLA 41-9
Cisco 7960 Phone、ポート接続 14-1	IP ルーティング ステート 41-2
IP フォン音声トラフィック、説明 14-2	コマンド 41-1
IP フォン データ トラフィック、説明 14-2	追跡リスト 41-3
IP フォンへの接続 14-5	定義 41-1
音声トラフィックに対してポートを設定する	ラインプロトコル ステート 41-2
802.1p プライオリティ タグ付きフレーム 14-6	拡張システム ID
音声トラフィック用のポート設定	MSTP 18-18
802.1Q フレーム 14-5	STP 17-4, 17-15
設定時の注意事項 14-3	拡張範囲 VLAN
説明 14-1	作成する 12-14
データ トラフィックに対して IP 電話を設定する	設定 12-12
着信フレームの CoS のオーバーライド 14-7	設定時の注意事項 12-13
着信フレームの CoS プライオリティの信	定義済み 12-1
賴 14-7	内部 VLAN ID を指定した作成 12-15
デフォルト設定 14-3	拡張ユニバーサル識別情報
表示する 14-8	「EUI」を参照
オンライン診断	仮想 IP アドレス
概要 47-1	クラスタ スタンバイ グループ 5-11
テストの実行 47-3	コマンド スイッチ 5-11

仮想ルータ 39-1, 39-2 緊急キュー、QoSの 33-80 簡易ネットワーク管理プロトコル 「SNMP」を参照 環境変数、機能 3-16 管理 VLAN クエリー、IGMP 23-4 異なる管理 VLAN での検出 5-7 クエリー送信要求、IGMP **23-13** スイッチ クラスタでの考慮事項 5-7 クライアント プロセス、トラッキング 41-1 管理アクセス クライアント モード、VTP 13-3 帯域外コンソール ポート接続 1-6 クラスタ グループおよび HSRP グループのバイン ド **39-11** 帯域内 クラスタ、スイッチ CLI セッション 1-6 LRE プロファイルの考慮事項 **5-15** SNMP **1-6** アクセスする 5-13 デバイス マネージャ 1-6 管理する ブラウザ セッション 1-6 CLI を使用して **5-15** 管理アドレス TLV 26-2 SNMP を介して **5-16** 管理オプション 万换件 5-4 CLI **2-1** 自動回復 5-10 CNS **4-1** 自動検出 5-5 Network Assistant 1-2 説明 5-1 概要 1-4 プランニング 5-4 クラスタリング 1-3 プランニングの考慮事項 管理の簡易性に関する機能 1-5 CLI **5-15** IP アドレス **5-13** き LRE プロファイル 5-15 RADIUS 5-14 キー発行局 SNMP **5-14**, **5-16** 「KDC」を参照 TACACS+ 5-14 キープアライブ メッセージ 17-3 自動回復 5-10 起動 自動検出 5-5 手動 3-14 パスワード 5-14 機能、非互換 24-11 ホスト名 5-13 逆アドレス解決 **35-8** 利点 1-2 逆アドレス解決プロトコル 「候補スイッチ」、「コマンド スイッチ」、「クラスタ ス 「RARP」を参照 タンバイ グループ」、「メンバ スイッチ」、「スタンバ 許可 イ コマンド スイッチ」も参照 RADIUS での 8-27 クラスタ スタンバイ グループ TACACS+ での 8-11, 8-16 HSRP グループ 39-11 許可 VLAN リスト 12-22 仮想 IP アドレス **5-11** 許可ポート、IEEE 802.1x での 9-7 考慮事項 5-11

自動回復 5-12	高速コンバージェンス 18-10
定義済み 5-2	高速スパニングツリー プロトコル
要件 5-3	「RSTP」を参照
「HSRP」も参照	候補スイッチ
クラスタの要件 3-xliii	自動検出 5-5
クラス マップ、QoS の	定義済み 5-4
設定する 33-48	要件 5-4
説明 33-8	「コマンド スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グルー
表示する 33-81	プ」、「メンバ スイッチ」も参照
クラスレス ドメイン間ルーティング	互換性、機能 24-11
「CIDR」を参照	コマンド
クラスレス ルーティング 35-7	no 形式と default 形式 2-4
クリアする、インターフェイスを 10-31	短縮形 2-4
クリティカル認証、IEEE 802.1x 9-36	コマンド、権限レベルを設定する 8-8
グローバル コンフィギュレーション モード 2-2	コマンドスイッチ
グローバルな脱退、IGMP 23-13	アクセスする 5-11
クロック	アクティブ(AC) 5-10
「システム クロック」を参照	置き換える
	クラスタ メンバでの 46-8
	別のスイッチとの 46-9
(†	回復
経路集約、OSPF 35-32	失われたメンバ接続性からの 46-11
ケーブル、単方向リンクのモニタリング 27-1	コマンド スイッチの障害からの 5-10, 46-7
ゲスト VLAN と 802.1x 9-12	冗長 5-10
権限レベル	スタンバイ(SC) 5-10
回線に対するデフォルトを変更する 8-9	設定の矛盾 46-11
概要 8-2, 8-7	定義済み 5-2
既存の 8-9	パスワード権限レベル 5-15
コマンド スイッチ 5-15	パッシブ(PC) 5-10
コマンドを設定する 8-8	プライオリティ 5-10
メンバ スイッチでのマッピング 5-15	要件 5-3
ロギング 8-9	「候補スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、 「メンバ スイッチ」、「スタンバイ コマンド スイッチ」
検出、クラスタ	も参照
「自動検出」を参照	コマンド モード 2-1
検出する、間接リンク障害を、STP 19-5	コマンドライン インターフェイス
	「CLI」を参照
	コミュニティ VLAN 15-2, 15-3
=	コミュニティ ストリング
構成設定 保存する 3-11	SNMP 5-14

概要 31-4	デフォルト名 3-13
クラスタ スイッチの 31-4	パスワード回復のディセーブル時の考慮事項 8-5
クラスタでの 5-14	ファイル名を指定する 3-13
設定する 5-14, 31-8	保存された設定を削除する B-20
コミュニティ ポート 15-2	コンフィギュレーション ロギング 2-5
コミュニティ リスト、BGP 35-58	
壊れたソフトウェア、Xmodem での回復手順 46-2	<u> </u>
コンソール ポート、接続する 2-10	*
コンテンツ ルーティング テクノロジー	サーバ モード、VTP 13-3
「WCCP」を参照	サービス拒絶攻撃 24-1
コンフィギュレーション ファイル	サービス クラス
DHCP で取得する 3-7	「CoS」を参照
TFTP サーバ アクセスを制限する 31-16	サービス プロバイダー ネットワーク
アーカイブする B-21 アップロードする	EtherChannel のレイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-9
FTP を使用する B-15	IEEE 802.1Q トンネリング 16-1
RCP を使用する B-18	カスタマー VLAN 16-2
TFTP を使用する B-12	レイヤ 2 プロトコル 16-8
準備する B-10, B-13, B-16	サービス プロバイダー ネットワーク、MSTP および RSTP 18-1
理由 B-8	再確認間隔、VMPS、変更する 12-33
コピー時の無効な組み合わせ B-5	再確認する、ダイナミック VLAN メンバーシップ
作成時と使用上の注意事項 B-9	を 12-33
システム接点と場所の情報 31-16	最大エージング タイム
実行コンフィギュレーションを置き換える B-20 , B-21	MSTP 18-24
実行コンフィギュレーションをロール バックす	STP 17-22
る B-20, B-21	最大ホップ カウント、MSTP 18-24
スタートアップ コンフィギュレーションを消去す	最適化する、システム リソースを 7-1
S B-20	サブドメイン、プライベート VLAN 15-1
説明 B-8	サブネット ゼロ 35-6
タイプと場所 B-9	
ダウンロードする PTD さ は思わる。 P 40	L
FTP を使用する B-13	_
RCP を使用する B-17	シーケンス番号、ログ メッセージの 30-8
TFTP を使用する B-11	シェイプド ラウンド ロビン
自動的に 3-13	「SRR」を参照
準備する B-10, B-13, B-16	時間範囲、ACL での 32-17
理由 B-8	しきい値、トラフィック レベル 24-2
置換とロール バックの注意事項 B-22	しきい値のモニタリング、IP SLA 40-6
テキスト エディタを使用して作成する B-10	

時刻	レベル キーワード、説明 30-10
「NTP とシステム クロック」を参照	ログ メッセージの同期をとる 30-6
シスコ エクスプレス フォワーディング	システム リソース、最適化する 7-1
「CEF」を参照	実行コンフィギュレーション
システム MTU および IEEE 802.1Q トンネリング 16-5	置き換える B-20, B-21
システム記述 TLV 26-2	ロール バックする B-20, B-21
システム機能 TLV 26-2	実行コンフィギュレーション、保存する 3-11
システム クロック	自動 QoS
概要 6-1	「QoS」を参照
設定する	自動 RP、説明 43-7
時間帯 6-12	自動回復、クラスタ 5-10
手動で 6-11	自動検出
夏時間 6-13	考慮事項
日時を表示する 6-12	CDP 非対応デバイス 5-6
「NTP」も参照	管理 VLAN 5-7
システム プロンプト、デフォルト設定 6-14, 6-15	クラスタ非対応デバイス 5-6
システム名	異なる VLAN 5-7
手動での設定 6-15	最新のスイッチ 5-9
デフォルト設定 6-15	接続性 5-5
「DNS」も参照	非候補デバイスの先 5-8
システム名 TLV 26-2	ルーテッド ポート 5-8
システム メッセージ ロギング	スイッチ クラスタでの 5-5
Syslog 機能 1-13	「CDP」も参照
UNIX Syslog サーバ	自動検知、ポート速度 1-3
サポートされる機能 30-14	自動設定 3-3
デーモンを設定する 30-12	自動ネゴシエーション
ロギング機能を設定する 30-13	インターフェイス設定時の注意事項 10-19
イネーブルにする 30-4	デュプレックス モード 1-3
エラー メッセージの重大度を定義する 30-9	不一致 46-11
概要 30-1	自動復旧、クラスタ
機能キーワード、説明 30-14	「HSRP」も参照
シーケンス番号、イネーブルとディセーブル 30-8	重大度、システム メッセージで定義する 30-9
設定を表示する 30-14	集約アドレス、BGP 35-60
タイム スタンプ、イネーブルとディセーブル 30-8	集約可能グローバル ユニキャスト アドレス 36-3
ディセーブルにする 30-4	集約ポート
デフォルト設定 30-3	「EtherChannel」を参照
表示宛先デバイスを設定する 30-5	集約ポリシング 1-11
メッセージの形式 30-2	集約ポリシング機能 33-61
メッセージを制限する 30-10	受動インターフェイス

OSPF 35-32	スイッチド パケット、ACL 32-39
設定 35-93	スイッチド ポート 10-2
照合	スイッチド ポート アナライザ
IPv6 ACL 38-3	「SPAN」を参照
冗長性	スイッチのクラスタ化テクノロジー 5-1
EtherChannel 34-3	「クラスタ、スイッチ」も参照
HSRP 39-1	スイッチ プライオリティ
STP	MSTP 18-22
パス コスト 12-27	STP 17-20
バックボーン 17-8	スーパーネット 35-7
ポート プライオリティ 12-25	スケジューリング、IP SLA 動作 40-5
冗長リンクと UplinkFast 19-14	スケジュール、リロードの 3-17
初期設定	スタートアップ コンフィギュレーション
Express Setup 1-2	起動のデフォルト設定 3-13
「Getting Started Guide」およびハードウェア インス	クリアする B-20
トレーション ガイドも参照	コンフィギュレーション ファイル
デフォルト 1-13	自動的にダウンロードする 3-13
自律システム、BGP 内 35-47	ファイル名を指定する 3-13
自律システム境界ルータ	ブーティング
「ASBR」を参照	手動で 3-14
資料、関連 3-xlii	特定のイメージ 3-15
侵入検知システム	スタティック IP ルーティング 1-12
「IDS 装置」を参照	スタティック MAC アドレッシング 1-8
信頼される境界、QoS の 33-40	スタティック VLAN メンバーシップ 12-2
信頼状態、ポートの	スタティック アクセス ポート
IP 電話のポート セキュリティを確立する 33-40	VLAN に割り当てる 12-12
QoS ドメイン間 33-43	定義済み 10-3, 12-3
QoS ドメイン内 33-38	スタティック アドレス
分類オプション 33-5	「アドレス」を参照
信頼できるトランスポート プロトコル、EIGRP 35-36	スタティック ルーティング 35-3
	スタティック ルート
<u></u> す	IPv6 で設定する 36-19
	設定 35-83
スイッチ間リンク	スタブ エリア、OSPF 35-30
「ISL」を参照	スタブ ルーティング、EIGRP 35-41
スイッチ仮想インターフェイス	スタンバイ グループ、クラスタ
「SVI」を参照	「クラスタ スタンバイ グループ」と「HSRP」も参照
スイッチ コンソール ポート 1-6	スタンバイ コマンド スイッチ
スイッチ ソフトウェア機能 1-1	仮相 ID アドレス 5-11

考慮事項 5-11	正常終了応答、VMPS 12-29
設定する	セカンダリ VLAN 15-2
定義済み 5-2	セキュア HTTP クライアント
プライオリティ 5-10	設定する 8-48
要件 5-3	表示する 8-48
「クラスタ スタンバイ グループ」と「HSRP」も参照	セキュア HTTP サーバ
スタンバイ タイマー、HSRP 39-10	設定する 8-46
スタンバイ リンク 20-2	表示する 8-48
スタンバイ ルータ 39-1	セキュア MAC アドレス
スティッキー ラーニング 24-9	最大数 24-9
ステートレス自動設定 36-5	削除する 24-16
ストーム制御	タイプ 24-9
サポート 1-4	セキュア シェル
しきい値 24-1	「SSH」を参照
設定する 24-3	セキュア ポート、設定する 24-8
説明 24-1	セキュア リモート接続 8-38
ディセーブルにする 24-5	セキュリティ機能 1-8
表示する 24-20	セキュリティ、ポート 24-8
スヌーピング、IGMP 23-2	設計する、ネットワークを、例 1-16
スパニングツリーとネイティブ VLAN 12-20	接続性の問題 46-13, 46-15, 46-16
スパニングツリー プロトコル	接続、セキュア リモート 8-38
「STP」を参照	設定可能な脱退タイマー、IGMP 23-6
スプリット ホライズン、RIP 35-24	設定時の注意事項、Multi-VRF CE 35-68
	設定、初期
п.	Express Setup 1-2
世	「Getting Started Guide」およびハードウェア インストレーション ガイドも参照
正規の時刻源、説明 6-2	デフォルト 1-13
制御プロトコル、IP SLA 40-4	設定の置換 B-20
制限する、アクセスを	設定の変更、ロギング 30-11
NTP サービス 6-8	設定の矛盾、失われたメンバ接続性から回復する 46-11
RADIUS 8-17	設定のロール バック B-20, B-21
TACACS+ 8-10	設定例、ネットワーク 1-16
概要 8-1	設定ロガー 30-11
パスワードと権限レベル 8-2	セットアップ プログラム
制限付き VLAN	障害が発生したコマンド スイッチの置換 46-9
IEEE 802.1x で使用する 9-13	障害が発生したコマンドスイッチを置き換え
設定する 9-34	る 46-8
説明 9-13	
整合性検査、VTP バージョン 2 での 13-4	

そ	man-in-the middle 攻擊、說明 22-2
	インターフェイス信頼状態 22-3
送信元 IP アドレス ベース転送、EtherChannel 34-7	機能 22-2
送信元 IP アドレス ベース転送と宛先 IP アドレス ベース 転送、EtherChannel 34-7	クリア
送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel 34-7	統計情報 22-16
送信元 MAC アドレス転送と宛先 MAC アドレス転送、	ログ バッファ 22-16
EtherChannel 34-7	設定
送信元アドレス	着信 ARP パケットのレート制限 22-4, 22-11
IPv4 ACL での 32-12	ログ バッファ 22-13
IPv6 ACL 38-6	設定時の注意事項 22-6
即時脱退、IGMP 23-6	設定する
イネーブルにする 37-9	DHCP 環境での 22-7
属性、RADIUS	非 DHCP 環境の ACL 22-9
ベンダー固有 8-29	説明 22-1
ベンダー専用 8-31	妥当性チェック、実行 22-12
ソフトウェア イメージ	デフォルト設定 22-6
tar ファイル形式、説明 B-26	統計情報
回復手順 46-2	クリア 22-16
フラッシュ内での場所 B-25	表示 22-16
リロードのスケジューリング 3-17	ドロップされたパケットのロギング、説明 22-5
「ダウンロードとアップロード」も参照	ネットワーク セキュリティ問題とインターフェイス
ソフトウェアのリロード 3-17	信賴状態 22-3
	表示
	ARP ACL 22-15
<i>t</i> -	信頼状態およびレート制限 22-15
対象読者 3-xli	設定および動作状態 22-15
ダイナミック ARP インスペクション	統計情報 22-16
ARP ACL と DHCP スヌーピング エントリのプライ	ログ バッファ 22-16
オリティ 22-5	レート制限を超過した場合の errdisable ステー ト 22-5
ARP キャッシュ ポイズニング 22-1	ログ バッファ
ARP スプーフィング攻撃 22-1	クリア 22-16
ARP パケットのレート制限	設定 22-13
errdisable ステート 22-5	表示 22-16
設定 22-11	ダイナミック アクセス ポート
説明 22-4	設定する 12-32
ARP 要求、説明 22-1	定義済み 10-3
DHCP スヌーピング バインディング データベー	特性 12-4
ス 22-2	ダイナミック アドレス
DoS 攻擊 同避 22-11	

「アドレス」を参照 ち ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ 注意、説明 3-xlii 再確認する 12-33 接続のタイプ 12-32 注、説明 3-xlii 説明 12-30 トラブルシューティング 12-35 つ ダイナミック ルーティング 35-3 タイプ オブ サービス ツイストペア イーサネット、単方向リンクを検出す る **27-1** 「ToS」を参照 追跡対象オブジェクト タイム スタンプ、ログ メッセージの 30-8 しきい値重みによる 41-5 タイム ゾーン 6-12 しきい値パーセントによる 41-6 タイム ドメイン反射率計 ブール式の使用 41-4 「TDR」を参照 追跡リスト ダウンロードする 設定 41-3 イメージ ファイル タイプ 41-3 CMS を使用する 1-3 追跡リスト内の重みしきい値 41-5 FTP を使用する **B-32** 追跡リスト内のパーセントしきい値 41-6 HTTP を使用する 1-3, B-24 追跡リスト内のブール式 41-4 RCP を使用する **B-37** TFTP を使用する B-28 準備する B-27, B-30, B-35 て デバイス マネージャまたは Network Assistant を 使用する **B-24** ディスタンスベクトル プロトコル 35-3 古いイメージを削除する B-29 ディスタンス ベクトル マルチキャスト ルーティング プロ トコル 理由 **B-25** 「DVMRP」を参照 コンフィギュレーション ファイル ディスタンスベクトル マルチキャスト ルーティング プロ FTP を使用する **B-13** トコル RCP を使用する **B-17** 「DVMRP」を参照 TFTP を使用する B-11 ディファレンシエーテッド サービス アーキテクチャ、 準備する B-10, B-13, B-16 OoS **33-2** 理由 **B-8** ディファレンシエーテッド サービス コード ポイン **33-2** タグ付きパケット 低密度波長分割多重方式 IEEE 802.1Q **16-3** 「CWDM SFP」を参照 レイヤ2プロトコル 16-8 ディレクトリ 単一方向リンク検出プロトコル 作業ディレクトリを表示する B-3 「UDLD」を参照 作成と削除 B-4 短縮形、コマンドの 2-4 変更する B-3 端末回線、パスワードを設定する 8-6 デバイス検出プロトコル **25-1, 26-1**

デバイス マネージャ	MS1P 18-15
スイッチをアップグレードする B-24	Multi-VRF CE 35-68
説明 1-2, 1-5	MVR 23-21
带域内管理 1-6	NTP 6-4
要件 3-xlii	OSPF 35-27
利点 1-2	PIM 43-10
デバッグする	RADIUS 8-20
エラー メッセージ出力をリダイレクトする 46-20	RIP 35-21
コマンドを使用する 46-19	RMON 29-3
すべてのシステム診断をイネーブルにする 46-20	RSPAN 28-9
特定機能に対してイネーブルにする 46-19	SDM テンプレート 7-3
デフォルト ゲートウェイ 3-11, 35-12	SNMP 31-7
デフォルト設定	SPAN 28-9
802.1x 9-22	SSL 8-45
BGP 35-45	STP 17-12
CDP 25-2	TACACS+ 8-13
DHCP 21-8	UDLD 27-4
DHCP オプション 82 21-8	VLAN 12-8
DHCP スヌーピング 21-8	VLAN、レイヤ2イーサネットインターフェイ
DHCP スヌーピング バインディング データベー	ス 12-20
ス 21-9	VMPS 12-30
DNS 6-16	VTP 13-7
EIGRP 35-37	WCCP 42-5
EtherChannel 34-9	イーサネット インターフェイス 10-15
Flex Link 20-4	オプションのスパニングツリー設定 19-10
HSRP 39-5	音声 VLAN 14-3
IEEE 802.1Q トンネリング 16-4	起動 3-13
IGMP 43-30	システム名とプロンプト 6-15
IGMP スヌーピング 23-7, 37-5, 37-6	システム メッセージ ロギング 30-3
IGMP フィルタリング 23-26, 23-27	自動 QoS 33-22
IP SLA 40-6	初期スイッチ情報 3-3
IPv6 36-14	ダイナミック ARP インスペクション 22-6
IP アドレス指定、IP ルーティング 35-5	パスワードと権限レベル 8-2
IP ソース ガード 21-17	バナー 6-18
IP マルチキャスト ルーティング 43-10	標準 QoS 33-33
LLDP 26-3	フォールバック ブリッジング 45-4
MAC アドレス テーブル 6-21	プライベート VLAN 15-6
MAC アドレス テーブル移動更新 20-4	レイヤ 2 インターフェイス 10-15
MSDP 44-4	レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-11

デフォルト ネットワーク 35-85	インターフェイス 10-30
デフォルト ルーティング 35-3	等コストルーティング 1-12, 35-83
デフォルト ルート 35-85	到達可能性、IP SLA IP ホストのトラッキング 41-9
デュアル IPv4/IPv6 SDM テンプレート 36-11	トークンリング VLAN
デュアル IPv4/IPv6 テンプレート 7-2, 36-1, 36-11	VTP サポート 13-4
デュアルパーパス アップリンク	サポート 12-6
LED 10-6	ドキュメントの表記法 3-xlii
タイプを設定する 10-17	独立 VLAN 15-2, 15-3
定義済み 10-6	独立ポート 15-2
リンクの選択 10-6	都市ロケーション 26-3
デュアル プロトコル スタック	特権 EXEC モード 2-2
IPv4 ≥ IPv6 36-11	ドメイン ネーム システム
SDM テンプレートのサポート 36-11	「DNS」を参照
設定 36-17	ドメイン名
電源管理 TLV 26-2, 26-6	DNS 6-15
転送情報ベース	VTP 13-8
「FIB」を参照	トラストポイント、CA 8-43
転送遅延時間	トラッキング、IP ルーティング ステートの 41-2
MSTP 18-23	トラッキング、インターフェイス ラインプロトコル ス
STP 17-22	テートの 41-2
転送保留カウント	トラッキング プロセス 41-1
「STP」を参照	トラック ステート、IP SLA のトラッキング 41-9
テンプレート、SDM 7-1	トラップ
	MAC アドレス通知を設定する 6-22
	概要 31-1, 31-5
٤	通知タイプ 31-13
同期化、BGP 35-47	定義済み 31-3
統計情報	マネージャを設定する 31-12
802.1x 9-44	有効化 6-22, 31-12
CDP 25-4	トラップ ドア メカニズム 3-2
IP マルチキャスト ルーティング 43-55	トラフィック
LLDP 26-7	非フラグメント化 32-5
LLDP-MED 26-7	フラグメント化 32-5
OSPF 35-34	フラッドのブロッキング 24-7
QoS の入力と出力 33-81	分割 IPv6 38-3
RMON グループ イーサネット 29-5	トラフィックの抑制 24-1
RMON グループ履歴 29-5	トラフィック ポリシング 1-10
SNMP 入力と出力 31-18	トラブルシューティング
VTP 13-17	CiscoWorks での 31-4

debug コマンド 46-19 定義済み 12-4 PIMv1 および PIMv2 の相互運用性の問題 43-26 ping による 46-13 な SFP セキュリティと識別情報 **46-12** show forward コマンド 46-20 内部ネイバー、BGP 35-47 traceroute での 46-16 夏時間 6-13 クラッシュ情報を表示する 46-23 名前付き IPv4 ACL 32-15 システム メッセージ ロギングでの 30-1 並べ替え、ACL エントリ 32-15 接続性の問題 46-13, 46-15, 46-16 単方向リンクを検出する に パケット転送を設定する 46-20 トランキングのカプセル化 1-7 二重タグ パケット トランク IEEE 802.1Q トンネリング **16-2** DTP をサポートしないデバイス 12-18 レイヤ 2 プロトコル トンネリング ISL **12-17** 認証 許可 VLAN リスト 12-22 AAA でのローカル モード 8-36 設定 12-21, 12-26, 12-28 EIGRP **35-40** タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 12-24 HSRP **39-9** パラレル 12-27 NTP アソシエーション 6-4 プルーニング適格リスト 12-24 **RADIUS** ロード シェアリング キー 8-21 STP パス コストを設定する 12-27 ログイン 8-23 STP ポート プライオリティを使用する 12-25, TACACS+ 12-26 キー 8-13 トランク フェールオーバー 定義済み 8-11 「リンクステート トラッキング」を参照 ログイン 8-14 トランク ポート 「ポートベース認証」を参照 カプセル化 12-21, 12-26, 12-28 認証キー、ルーティング プロトコル 35-96 設定する 12-21 認証失敗 VLAN 定義済み 10-3, 12-3 「制限付き VLAN」を参照 トランスペアレント モード、VTP 13-3, 13-13 トンネリング IEEE 802.1Q **16-1** ね 定義 16-1 ネイティブ VLAN レイヤ2プロトコル 16-8 IEEE 802.1Q トンネリング **16-4** トンネル ポート 設定する 12-24 IEEE 802.1Q、設定 16-6 デフォルト 12-24 説明 10-4, 16-1 ネイバー、BGP 35-59 他の機能との非互換性 16-6

ネイバー探索、IPv6 36-4	「DHCP スヌーピング バインディング データベース を参照
ネイバー探索および回復、EIGRP 35-36	ペケットの変更、QoS での 33-21
ネットワーク管理	パス MTU 検出 36-4
CDP 25-1	パス コスト
RMON 29-1	MSTP 18-21
SNMP 31-1	STP 17-19
ネットワーク タイム プロトコル	パスワード
「NTP」を参照	VTP ドメイン 13-9
ネットワークの設計	wir ドクイン 13-9 暗号化 8-3
サービス 1-18	
パフォーマンス 1-17	回復 46-3
ネットワークの設定例	回復をディセーブルにする 8-5
サーバ集約と Linux サーバ クラスタ 1-19	概要 8-1
大規模ネットワーク 1-22	クラスタでの 5-14
中小規模ネットワーク 1-20	セキュリティ 1-8
長距離、広帯域トランスポート 1-23	設定する
ネットワーク サービスを提供する 1-18	Telnet 8-6
ネットワーク パフォーマンスを改善する 1-17	イネーブル 8-3
ネットワーク パフォーマンス、IP SLA で測定す	シークレットをイネーブルにする 8-3
3 40-3	ユーザ名での 8-7
ネットワーク ポリシー TLV 26-2, 26-6	デフォルト設定 8-2
	バックアップ インターフェイス
は	「Flex Link」を参照
	バックアップ リンク 20-2
バージョン依存のトランスペアレント モード 13-4	バナー
バーチャル プライベート ネットワーク	設定する
「VPN」を参照	Message-of-the-Day ログイン 6-18
ハードウェアの制限とレイヤ3インターフェイス 10-26	ログイン 6-19
バインディング	デフォルト設定 6-18
DHCP スヌーピング データベース 21-7	表示時 6-17
IP ソース ガード 21-16	パフォーマンス機能 1-3
アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ 21-6	パフォーマンス、ネットワークの設計 1-17
バインディング データベース	パラレル パス、ルーティング テーブル内 35-83
DHCP スヌーピング	範囲
「DHCP スヌーピング バインディング データベー ス」を参照	インターフェイスの 10-12 マクロ 10-13
アドレス、DHCP サーバ	
「DHCP、Cisco IOS サーバ データベース」を参 昭	

バインディング テーブル、DHCP スヌーピング

ひ	削除 B-5
非 IPv6 トラフィック、フィルタリング 38-4	内容を表示する B-7 ファイル システム
非 IP トラフィック フィルタリング 32-27	クティル マハテム 使用可能なファイル システムを表示する B-2
ピア、BGP 35-59	デフォルトを設定する B-3
非階層型ポリシー マップ	ネットワーク ファイル システム名 B-4
設定時の注意事項 33-35	ファイル情報を表示する B-3
説明 33-10	ローカル ファイル システム名 B-1
光ファイバ、単一方向リンクの検出 27-1	不一致、自動ネゴシエーション 46-11
非対称リンク、IEEE 802.1Q トンネリング 16-4	フィルタ、IP
非トランキング モード 12-18	「ACL、IP」を参照
非認識 Type-Length-Value(TLV)サポート 13-4	フィルタリング
表記法	IPv6 トラフィック 38-4, 38-8
コマンド 3-xlii	show コマンドと more コマンドの出力 2-10
マニュアル 3-xlii	VLAN での 32-29
文字 3-xlii	非 IP トラフィック 32-27
例 3-xlii	フィルタリング、show コマンドと more コマンドの出力
標準範囲 VLAN 12-5	Ø 2-10
コンフィギュレーション モード 12-7	ブーティング
設定時の注意事項 12-6	特定のイメージ 3-15
設定する 12-5	ブートプロセス 3-2
定義済み 12-1	ブートローダ、機能 3-2
	ブートストラップ ルータ(BSR)、説明 43-7
	ブートローダ
<u> ১</u>	アクセス 3-15
ファイル	環境変数 3-15
crashinfo、説明 46-23	説明 3-2
tar	トラップ ドア メカニズム 3-2
イメージ ファイルの形式 B-26	プロンプト 3-15
作成する B-6	フォールバック ブリッジング
抽出する B-7	STP
内容を表示する B-6	hello BPDU インターバル 45-9
拡張 crashinfo	VLAN ブリッジ STP 45-2
説明 46-23	VLAN ブリッジ スパニングツリー プライオリ ティ 45-6
場所 46-23	インターフェイスでディセーブル 45-10
基本 crashinfo	インターフェイス プライオリティ 45-7
説明 46-23	キープアライブ メッセージ 17-3
場所 46-23	最大アイドル時間 45-10
コピーする B-4	

転送遅延時間 45-9	セカンダリ VLAN 15-2
パス コスト 45-8	設定 15-10
SVI およびルーテッド ポート 45-2	設定作業 15-6
VLAN ブリッジ STP 17-11	設定時の注意事項 15-6, 15-7, 15-8
インターフェイスを接続する 10-10	デフォルト設定 15-6
概要 45-1	独立 VLAN 15-2, 15-3
サポート 1-12	独立ポート 15-2
サポートされていないプロトコル 45-4	トラフィック 15-5
設定時の注意事項 45-4	複数のスイッチ間 15-4
説明 45-1	プライマリ VLAN 15-1, 15-3
デフォルト設定 45-4	ポート
ブリッジ グループ	コミュニティ 15-2
機能 45-2	設定時の注意事項 15-8
削除 45-5	説明 12-4
作成 45-4	独立 15-2
サポートされる数 45-5	ホスト ポートの設定 15-12
説明 45-2	無差別 15-2
表示 45-11	無差別ポートの設定 15-13
ブリッジテーブル	マッピング 15-14
クリア 45-11	無差別ポート 15-2
表示 45-11	モニタリング 15-15
フレーム転送	利点 15-1
パケット転送 45-2	プライベート VLAN エッジ ポート
パケットのフラッディング 45-2	「保護ポート」を参照
プロトコル、未サポート 45-4	プライマリ VLAN 15-1, 15-3
保護ポート 45-4	プライマリ リンク 20-2
物理ポート 10-2	フラッシュ デバイス、番号 B-1
プライオリティ	フラッド トラフィック、ブロッキング 24-7
CoS の上書き 14-7	ブリッジ グループ
CoS を信頼する 14-7	「フォールバック ブリッジング」を参照
HSRP 39-7	ブリッジドパケット、ACL 32-40
プライベート VLAN	ブリッジ プロトコル データ ユニット
IP アドレス指定 15-3	「BPDU」を参照
SDM テンプレート 15-4	プルーニング、VTP
SVI 15-5	イネーブルにする
エンド ステーション アクセス 15-3	VTP ドメインで 13-15
コミュニティ VLAN 15-2, 15-3	ポート上での 12-24
コミュニティ ポート 15-2	概要 13-4
サブドメイン 15-1	ディセーブルにする

Time to be a second	
VTP ドメインで 13-15 ポート上での 12-24	ほ
例 13-6	防止する、不正アクセスを 8-1
プルーニング適格リスト	ボーダー ゲートウェイ プロトコル
VLAN 13-15	「BGP」を参照
VTP プルーニングの 13-5	ポート
変更する 12-24	IEEE 802.1Q トンネル 12-4
プレフィックス リスト、BGP 35-56	VLAN の割り当て 12-12
フロー制御	アクセス 10-3
設定する 10-21	スイッチ 10-2
説明 10-20	スタティック アクセス 12-3, 12-12
フローチャート	セキュア 24-8
QoS 出力キューイングとスケジューリング 33-18	ダイナミック アクセス 12-4
QoS 入力キューイングとスケジューリング 33-16	デュアルパーパス アップリンク 10-6
QoS 分類 33-7	トランク 12-3, 12-17
QoS ポリシングとマーキング 33-11	ブロッキング 24-7
ブロードキャスト ストーム 24-1, 35-14	保護される 24-5
ブロードキャストのフラッディング 35-17	ルーテッド 10-4
ブロードキャスト パケット	ポート ACL
ダイレクト 35-14	タイプ 32-3
フラッディング 35-14	定義 32-2
フローベース パケット分類 1-10	ポート VLAN ID TLV 26-2
プロキシARP	ポート記述 TLV 26-2
IP ルーティングがディセーブル 35-12	ポート シャットダウン応答、VMPS 12-29
設定 35-11	ポート セキュリティ
定義 35-9	QoS 信頼境界と 33-40
ブロッキング パケット 24-7	イネーブル化 24-19
プロトコル依存モジュール、EIGRP 35-36	違反 24-9
プロバイダー エッジ デバイス 35-66	エージング 24-17
プロファイル外マークダウン 1-11	スティッキー ラーニング 24-9
	設定 24-12
	説明 24-8
^	他の機能との 24-11
ヘルプ、コマンドライン 2-3	デフォルト設定 24-10
編集機能	トランク ポートでの 24-14
イネーブルとディセーブル 2-7	表示 24-20
使用されたキーストローク 2-7	プライベート VLAN の 24-19
ラップされた行 2-9	ポートチャネル
	「EtherChannel」を参照

ポートの信頼状態	スイッチとクライアント間のフレーム再送信回
サポート 1-10	数 9-31, 9-32
ポート プライオリティ	待機時間 9-30
MSTP 18-20	設定時の注意事項 9-23
STP 17-17	設定する
ポート ブロッキング 1-4, 24-7	802.1x 認証 9-25
ポートベース認証	アクセス不能認証バイパス 9-36
EAPOL-Start フレーム 9-5	クライアントの手動での再認証 9-29
EAP-Request/Identity フレーム 9-5	ゲスト VLAN 9-33
EAP-Response/Identity フレーム 9-5	制限付き VLAN 9-34
VLAN 割り当て	定期的な再認証 9-29
AAA 認証 9-25	ホストモード 9-28
設定タスク 9-11	説明 9-1
説明 9-10	デバイスの役割 9-2
特性 9-10	デフォルト値へのリセット 9-44
Wake-on-LAN、説明 9-17	デフォルト設定 9-22
アカウンティング 9-8	統計情報の表示 9-44
アクセス不能認証バイパス	統計情報、表示する 9-44
設定する 9-36	認証サーバ
説明 9-14	RADIUS サーバ 9-3
注意事項 9-24	定義 9-2
音声 VLAN	方式リスト 9-25
PVID 9-15	ポート
VVID 9-15	音声 VLAN 9-15
説明 9-15	許可および無許可 9-7
開始およびメッセージ交換 9-5	許可ステートおよび dot1x port-control コマン ド 9-7
カプセル化 9-3	ポート セキュリティ
クライアント、定義 9-2	音声 VLAN 9-16
ゲストVLAN	説明 9-16
設定時の注意事項 9-13, 9-14	相互作用 9-16
説明 9-12	マルチホスト モード 9-8
スイッチ	ホストモード 9-7
RADIUS クライアント 9-3	前のリリースからアップグレードする 9-25, 33-28
プロキシとして 9-3	マジック パケット 9-17
設定	マルチ ホスト モード、説明 9-8
RADIUS サーバ 9-27	ユーザ単位 ACL
スイッチからクライアントへの再送信時 間 9-30	AAA 許可 9-25
国 9-30 スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 9-26	設定タスク 9-12
$\sim \sim 1 / 1 / 1 \sim 1000 / 1000 $	

説明 9-11	説明 33-4
ユーザ単位の ACL	タイプ 33-10
RADIUS サーバ属性 9-11	表示する 33-81
ポートベースの認証	ポリシング済み DSCP マップ、QoS での 33-65
ポート	
クリティカル 9-14	
ポートメンバーシップ モード、VLAN 12-3	ま
保護ポート 1-8, 24-5	マーキング
補助 VLAN	集約ポリシング機能でのアクション 33-61
「音声 VLAN」を参照	説明 33-4, 33-9
ホスト、ダイナミック ポートでの制限 12-35	マクロ
ホストポート	「SmartPort マクロ」を参照
種類 15-2	マジック パケット 9-17
設定 15-12	マッピング テーブル、QoS の
ホスト名、クラスタでの 5-13	設定する
ポリシーベース ルーティング	CoS/DSCP 33-63
「PBR」を参照	DSCP 33-63
ポリシーマップ、QoS の	DSCP/CoS 33-66
SVI での階層	DSCP/DSCP 変換 33-67
設定時の注意事項 33-35	IP precedence/DSCP 33-64
設定する 33-54	ポリシング済み DSCP 33-65
説明 33-12	説明 33-13
階層 33-9	マニュアル
説明 33-8	対象読者 3-xli
特性 33-50	目的 3-xli
表示する 33-82 物理ポートでの非階層	マルチオペレーションのスケジューリング、IP SLA 40-5
設定時の注意事項 33-35	マルチキャスト TV アプリケーション 23-19
説明 33-10	マルチキャスト VLAN 23-18
ポリシング	マルチキャスト VLAN レジストレーション
階層	「MVR」を参照
「階層型ポリシー マップ」を参照	マルチキャスト グループ
説明 33-4	加入 23-3
トークン バケット アルゴリズム 33-10	スタティックな加入 23-11, 37-8
ポリシング機能	即時脱退 23-6
数 33-36	脱退 23-5
設定する	マルチキャスト ストーム 24-1
各一致トラフィック クラスでの 33-50	マルチキャストパケット
複数トラフィック クラスでの 33-61	ACL 32-41

ブロッキング 24-7 モニタリング BGP **35-64** マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタリン グ **23-17, 37-12** CDP 25-4 マルチキャストルータポート、追加する 23-10,37-8 CEF **35-82** マルチドメイン認証 EIGRP **35-42** 「MDA」を参照 Flex Link 20-12 HSRP 39-12 IEEE 802.1Q トンネリング 16-18 3 **IGMP** ミラーリング トラフィック、分析用の 28-1 スヌーピング **23-17, 37-12** フィルタ 23-31 ΙP む アドレス テーブル 35-18 無許可ポート、IEEE 802.1x での 9-7 マルチキャストルーティング 43-54 無差別ポート ルート 35-97 設定 15-13 IP SLA 動作 40-14 定義 15-2 IPv4 ACL 設定 32-42 矛盾、設定 46-11 IPv6 **36-26** IPv6 ACL 設定 38-9 MAC アドレス テーブル移動更新 **20-12** め MSDP ピア 44-19 メッセージ、ユーザに対するバナーを使用した 6-17 Multi-VRF CE 35-80 MVR **23-25** メトリック、**BGP** 内 **35-53** メトリック変換、ルーティング プロトコル間 35-89 OSPF **35-34** メトロタグ 16-2 RP マッピング情報 **43-26** メンバーシップ モード、VLAN ポート 12-3 SFP ステータス 10-30, 46-13 メンバ スイッチ Source-Active メッセージ 44-19 失われた接続性から回復する 46-11 VLAN 12-16 管理する 5-15 フィルタ 32-43 「候補スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、 マップ 32-43 「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照 VMPS **12-34** 自動検出 5-5 VTP **13-17** 定義済み 5-2 アクセス グループ 32-42 パスワード 5-13 インターフェイス 10-29 要件 5-4 オブジェクト トラッキング 41-10 機能 1-13 スイッチ間でのトラフィック フロー 29-1 ŧ 速度モードとデュプレックス モード 10-20 モジュール番号 10-10 単方向リンク用のケーブル 27-1

クラスタ 3-xliii トラフィックの抑制 24-19 トンネリング 16-18 デバイス マネージャ 3-xlii フォールバック ブリッジング 45-11 プライベート VLAN **15-15** b プローブでの分析用のネットワーク トラフィッ **28-2** ライン コンフィギュレーション モード ポート ブロッキング 24-20 IJ 保護 24-20 マルチキャストルータインターフェイス 23-17. リセット、BGP 内 **35-51** リトライ回数、VMPS、変更する **12-33** レイヤ2プロトコルトンネリング 16-18 リモート SPAN 28-2 「RSPAN」を参照 ゆ リモート コピー プロトコル 「RCP」を参照 ユーザ EXEC モード 2-2 リモート ネットワーク モニタリング ユーザ データグラム プロトコル 「RMON」を参照 「UDP」を参照 履歴 ユーザ名ベース認証 8-7 コマンドを呼び出す 2-6 優先処理、トラフィックの 説明 2-6 「QoS」を参照 ディセーブルにする 2-7 優先遅延、デフォルト設定 20-4 バッファ サイズを変更する 2-6 優先、デフォルト設定 20-4 履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと番 誘導ユニキャスト要求 1-5 号 30-10 ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング 1-5 リンク障害、単一方向の検出 18-8 CPU パケットと **6-26** リンク冗長性 スタティック アドレスを追加する 6-26 「Flex Link」を参照 設定時の注意事項 6-26 リンクステート トラッキング 説明 6-25 設定する 34-23 ブロードキャスト MAC アドレスと 6-26 説明 34-21 マルチキャストアドレスと 6-26 リンクステート プロトコル 35-3 ルータ MAC アドレスと 6-26 リンク、単方向 27-1 ユニキャストストーム 24-1 リンク ローカル ユニキャスト アドレス 36-3 ユニキャスト トラフィック、ブロッキング 24-7 隣接テーブル、CEF **35-82** ょ る 要件 ルータ ACL

タイプ 32-4

Network Assistant 3-xIII

定義 32-2 ルータ ID、OSPF 35-34	ħ
ルーティング	例
情報の再配信 35-85	ネットワーク設定 1-16
スタティック 35-3	表記法 3-xlii
ダイナミック 35-3	レイヤ 2 traceroute
デフォルト 35-3	1 ポートに複数のデバイス 46-16
ルーティングできないプロトコルの転送 45-1	ARP 46-16
ルーティング ドメイン連合、BGP 35-61	CDP 46-15
ルーティング プロトコルのアドミニストレーティブ ディ	IP アドレスおよびサブネット 46-16
スタンス 35-84	MAC アドレスおよび VLAN 46-15
ルーテッド パケット、ACL 32-40	使用上の注意事項 46-15
ルーテッド ポート	説明 46-15
IP アドレス 10-26, 35-4	ブロードキャスト トラフィック 46-15
スイッチ クラスタでの 5-8	マルチキャストトラフィック 46-15
設定 35-3	ユニキャスト トラフィック 46-15
定義済み 10-4	レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 10-15
ルートガード	レイヤ 2 フレーム、CoS での分類 33-2
イネーブルにする 19-16	レイヤ 2 プロトコル トンネリング
サポート 1-7	EtherChannel の設定 16-14
説明 19-8	設定 16-10
ルート計算タイマー、OSPF 35-32	注意事項 16-12
ルートスイッチ	定義 16-8
MSTP 18-17	デフォルト設定 16-11
STP 17-15	レイヤ 2 プロトコル パケットのシャットダウンしきい
ルート選択、BGP 35-52	值 16-11
ルート ターゲット、VPN 35-67	レイヤ 2 プロトコル パケットのドロップしきい
ルート ダンプニング、BGP 35-63	値 16-11 レイヤ 3 インターフェイス
ルートマップ	IPv4 アドレスと $IPv6$ アドレスを割り当てる 36-17
BGP 35-54	IPv6 アドレスを割り当てる 36-15
ポリシーベース ルーティング 35-89	
ルート リフレクタ、BGP 35-62	IP アドレスの割り当て 35-6 タイプ 35-3
ループ ガード	
イネーブルにする 19-16	レイヤ 2 モードからの変更 35-6, 35-73, 35-74 レイヤ 3 機能 1-11
サポート 1-7	
説明 19-9	レイヤ 3 パケット、分類方式 33-2
	レポート抑制、IGMP
	説明 23-6 ディセーブルにする 23-16. 37-11
	/ 1 に / /ヒィにり a 43-10, 3/-11

ろ

```
ローカル SPAN 28-2
ロード バランシング 39-3
ロギング メッセージ、ACL 32-8
ログイン認証
RADIUS での 8-23
TACACS+ での 8-14
ログイン バナー 6-17
ログ メッセージ
「システム メッセージ ロギング」を参照
ロケーション TLV 26-3, 26-6
```